

市長が掲げた重点政策No.1～46

【指標欄に記載する記号】※カッコ内は令和7年3月31日時点の達成状況

- ☆ (19.51%) … 実施済み、目標達成
- (71.95%) … 実施に向けて進行中
- △ ( 8.54%) … 実施に向けて検討中
- × ( 0%) … 未検討 など

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度		
						10	11	12	1	2	3	上半期	下半期	上半期	下半期	
1	1	18歳までの医療費完全無料化 子どもの医療費の一部を助成することにより、子どもの保健の向上及び福祉の増進並びに子育て家庭の経済的負担の軽減を図るものである。 本市の子ども医療費助成事業は、中学校3年生まで(15歳に達した日の属する年度の末日まで)の児童を対象として実施しているが、さらなる子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、令和6年10月から、対象児童の年齢を高校3年生まで(18歳に達した日の属する年度の末日まで)に拡大するものである。	R6.10	子ども支援課	進捗	年度目標	パブリックコメントの実施および条例の整備						制度周知および運用開始			
						指標 ☆○△×	☆						☆			
						計画 (短期目標)	パブリックコメントの実施・公表および条例改正		条例改正		制度周知および受給者証交付手続の開始		条例施行・制度周知および運用の開始			
					指標 ☆○△×	○		○		○		☆		達成済		
					状況	【パブリックコメントの実施】 (募集期間) R5.11.12～R5.12.21		【条例改正】 令和6年第1回定例会にて可決。年齢拡大に際し、条例の整備を完了した。 併せて、条例施行規則についても整備を行った。		制度の周知について、広報誌やホームページ、インターネット媒体等で広く行い、また、対象者への個別通知により申請を促した。 10月の実施に向け、対象者(0～18歳)に対し、9月下旬に受給者証の送付を行った。		10月診療分から、対象年齢を18歳まで拡大。				
2	2	小・中学校の給食費無料化 エネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けやすい子育て世帯の負担軽減を図るため、学校給食費の保護者負担分を3か月無償とする。	令和6年3月まで	保健給食課	進捗	年度目標	国から交付された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、令和6年1月から3月までの学校給食費の保護者負担分を無償とする						子どもの心身の健やかな成長を社会全体で応援する取組の一環として、令和6年4月より学校給食費の保護者負担分を無償化する			
						指標 ☆○△×	○						☆			
						計画 (短期目標)	令和6年1月からの実施に向け準備を進める		児童・生徒の保護者に給食費相当額を支給する		児童・生徒の保護者から同意書兼委任状を提出してもらい、各小・中学校に第1期(4月～9月分)の補助金を概算交付する		同意書兼委任状の提出があった児童・生徒の給食費を小・中学校に第2期(10月～12月)、第3期(1月～3月)の補助金を交付する			
					指標 ☆○△×	○		○		○		☆		達成済		
					状況	令和5年第4回定例会に補正予算を議案提出。		令和6年1月から3月の学校給食費の保護者負担分を無償とした。		児童生徒の保護者から同意書兼委任状が提出された。小中学校に、第1期(4月～9月分)の補助金を概算交付した。		同意書兼委任状の提出があった児童・生徒の給食費を小・中学校に第2期(10月～12月)、第3期(1月～3月)の補助金を概算交付した。				

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度	
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期	
												上半期		下半期	
3	3	保育料第2子以降無料化 保育園等に在園する0-2歳児クラス児童について、第2子にかかる保育料を無料とする。	未定	保育幼稚園課	年度目標	実施に向け、運用等の検討を行う						実施に向け、運用等の検討を行う		実施開始時期の検討	
					指標 ☆○△×	○						○			
					計画 (短期目標)	実施を想定した保育料の試算・運用等の検討		規則・運用等の検討		規則・運用等の検討		規則・運用等の検討		実施開始時期の検討	
					指標 ☆○△×	○		○		○		○			
進捗	状況	令和5年度在園児における実績に基づき、試算を行った。システム上での処理について運用を検討中。		システム上での処理について運用を検討中。		システム上での処理について運用を検討中。		規則・システム上での処理を含む運用等について検討を行った。併せて、令和6年度在園児における実績に基づき試算を行った。試算結果より、相応の予算が必要であることから、実施開始時期については財政状況及び保育料に関する国の動向を注視する。							
4	4	小中学校の修学旅行、無料化 小中学校の修学旅行を無償化するもの。	調整中	学校教育課・教育総務課	年度目標	実施内容及び方法を検討する						実施内容及び方法を検討する		実施内容及び方法を検討する	
					指標 ☆○△×	×						△			
					計画 (短期目標)	現状の把握		実施内容の検討		実施内容の検討		実施内容の検討		実施内容の検討	
					指標 ☆○△×	×		×		×		△			
進捗	状況	調整中		調整中		調整中		教育委員会管理職による会議にて、修学旅行無償化に関する検討を行った。運用面や財政負担の課題が多く、現時点では実施は困難と判断した。							
5	5	遊び場利用料親子とも無料化 北野公園市民プールの使用料について、未就学児は無料であるが、付添人の一般の使用料は有料(480円)となっているため、これを減免することで、親子の使用料を無料とするもの。	※調整のため記載なし	スポーツ振興課	年度目標	実施内容及び方法を検討する						運用方法を検討する		運用方法を検討する	
					指標 ☆○△×	△						△			
					計画 (短期目標)	実施内容の検討		運用方法の検討		運用方法を検討する		運用方法を検討する		運用方法を検討する	
					指標 ☆○△×	○		△		△		△			
進捗	状況	関連法規を確認し、実施内容を検討した。他市の状況を調査した。		運用方法を検討した。		運用方法を検討した。		使用料を無料とする対象範囲など、令和8年度の実施に向けて運用方法を検討した。							
6	6	おむつ満1歳までの無料化&宅配(子育て相談員が定期訪問) 0歳児を持つ家庭を対象に、おむつをはじめとする育児用品を取り扱うブランドのデジタルギフト5,000円分を提供する。なお、本事業実施により、市からのデジタルギフトの他、県から10,000円分のベビーギフトボックスが支給される。	令和6年度	こども政策課 →R7からこども家庭センター	年度目標	令和6年度からの事業実施に向けた準備						事業の着実な実施		妊産婦の孤立を防ぎ安心して子育てできる環境づくりを進める	
					指標 ☆○△×	○						○			
					計画 (短期目標)	令和6年度当初予算への計上		令和6年4月からの事業実施に向けた準備		事業の開始及び安定稼働		事業の安定稼働及び次年度に向けた検討		妊産婦への相談支援と情報提供の実施	
					指標 ☆○△×	○		○		○		○			
進捗	状況	令和6年度からの事業実施に向け、令和6年度当初予算への計上を行った。		令和6年度からの事業実施に向け、事業の仕様を構築した。		令和6年6月より事業を開始し、順次、対象者へ子育て家庭向けのデジタルギフトを送っている。		引き続き、順次、対象者へ子育て家庭向けのデジタルギフトを送った。なお、県のベビーギフト支給は令和6年度をもって終了となり、それに伴い、デジタルギフトの支給も終了とする。次年度以降は、給付金支給による経済的支援と併せて包括的な相談支援を行う妊産婦支援給付事業等を実施予定。							

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度						
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期		
7	7	中核市に移行	令和12年4月	経営企画課	年度目標	中核市移行に係る政策判断に向けた検討材料の洗い出し						移譲事務に係る調査研究及びその結果報告		埼玉県への協力要請に基づき、県・市事務担当者連絡会議を設置し、移譲事務等の調整を進めるとともに、中核市移行について市民への周知啓発を図り、機運を醸成する。全庁一丸となって移行に向けて進められるよう、庁内検討体制である中核市移行推進委員会及び各専門部会において、移行に向けた課題や取組について協議・検討を進める。						
						計画(短期目標)	移行準備に係る庁内体制の構築と役割分担			移譲事務に係る調査研究			移譲事務に係る各所属の調査回答を検証		中核市移行に係る調査報告書の策定		県との移譲事務の調整を進める。広報や市HP等を活用し、中核市移行について市民への周知啓発を図る。中核市移行推進委員会及び各専門部会を適宜開催し、移行に向けた協議・検討を進める。		県との移譲事務の調整を進める。広報や市HP等を活用し、中核市移行について市民への周知啓発を図る。中核市移行推進委員会及び各専門部会を適宜開催し、移行に向けた協議・検討を進める。	
							進捗	指標 ☆○△×						○		○				
進捗	状況							中核市移行準備調整会議・プロジェクトチーム会議を随時開催し、中核市移行の検討を進め、「中核市移行に関する調査報告書」をまとめた上で、令和12年4月に移行を目指すことを表明した。また、保健所整備について情報収集、調査・検討を進め、建設予定地を生涯学習推進センターグラウンドとして対外的に発表し、建設に係る設置基本計画策定及び土地の調査の委託費用を予算化した。移譲事務の調査については、次年度の県との調整に向けて、総務省の移譲事務に関する最新データ等を用いて、関係所属に現在の処理状況等を照会した。		中核市移行準備調整会議・プロジェクトチーム会議を随時開催し、中核市移行を円滑に進めるための基本的事項をまとめた「中核市移行に関する基本方針」を策定し、令和7年2月7日に公表した。令和7年3月28日には、その基本方針をもって、市長から県知事へ移行に向けた協力要請を行った。保健所の設置に向けては、関係部による調整会議を中核市準備調整会議と並行して行い、保健所設置の各種条件等について合意形成を進めるとともに、建設用地の地歴調査委託を令和6年10月～令和7年1月にかけて実施し、土壌汚染のおそれなしという結果となった。										
	8	8	高齢者・障がい者への活動助成	各年度	高齢者支援課	年度目標	支援の在り方を検討していく						支援の在り方を検討していく		支援の在り方を検討していく					
計画(短期目標)							支援の在り方を検討していく			支援の在り方を検討していく			支援の在り方を検討していく		支援の在り方を検討していく		支援の在り方を検討していく		支援の在り方を検討していく	
							進捗	指標 ☆○△×						○		○				
進捗	状況							長生クラブ連合会理事會に参加し、来年度の共催事業について意見交換を行った。		長生クラブと共催で高齢者演芸大会を開催した。今年度は中止となったが、長生クラブと高齢者スポーツ大会の今後の在り方について協議した。		従来の規模での開催が困難となった高齢者スポーツ大会の共催を止め、長生クラブが実施する新たなスポーツ大会を後援していくこととした。長生クラブ連合会が作成した会員募集チラシの広報に協力した。お達者倶楽部の活動支援やトコロん元気百歳体操実施団体への活動支援を実施した。								

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度						
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期		
						年度目標						上半期		下半期		上半期		下半期		
9	8	高齢者・障がい者への活動助成	障害者の活動助成に資する事業内容及び実施方法について、関係課と連携し調査、分析を進め、効果的な方策を検討し、着実に実施する。	令和6年度	障害福祉課	年度目標	調査、分析を進め、効果的な方策を検討する						障害者への活動助成(日常生活用具によるバッテリー等の支給等)を実施する		障害者への活動助成(日常生活用具によるバッテリー等の支給等)を引き続き実施する					
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	近隣市の状況やニーズを把握し、事業案を固める			近隣市の状況やニーズを把握し、事業案を固める			要綱改正の実施と、日常生活用具支給等の事務を行う		引き続き、日常生活用具支給等の事務を行う		必要な方へ支援が行き届くよう制度の周知を行い、支給事務等を行う		引き続き、必要な方へ支援が行き届くよう制度の周知を行い、支給事務等を行う	
						指標 ☆○△×	○			○			☆		○					
10	9	市内全小・中学校の体育館にエアコン設置	近年の暑さ対策及び、災害発生時の避難所として活用されることを踏まえ、体育館にエアコンを設置する。	※調整のため記載なし	教育施設課	年度目標	エアコン設置に向けた検討を始める			エアコン設置に向けて検討を進める			中学校7校の設計を進める							
						指標 ☆○△×	△						☆							
						計画 (短期目標)	設置可能なスケジュールを検討する		委託の発注仕様書を作成する		設置に向けて全庁的な合意を図るとともに、設置に向けて検討を進める		事業実施方法の検討を進める		学校毎に、エアコンの能力や設置位置などを検討する		工事の実施時期を踏まえ、設計を進める			
						指標 ☆○△×	○		△		○		☆							
11	10	市長タウンミーティングの毎月開催	市長が市政全般について、市民の意見や思いを伺うため開催する。	令和10年3月	市民相談課	年度目標	11月から毎月開催			毎月開催			毎月開催							
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	11月から毎月開催		11月から毎月開催		毎月開催		毎月開催		毎月開催		毎月開催			
						指標 ☆○△×	○		○		○		○							
12	11	市長給与の3割カット	特例条例の議会提出	R5.12.1	職員課	年度目標	特例条例の議会提出						達成済							
						指標 ☆○△×	☆													
						計画 (短期目標)	特例条例の議会提出						達成済							
						指標 ☆○△×	☆													
						進捗 状況	令和5年12月議会において、特例条例を議会提出し、議決を得た。													
						指標 ☆○△×														
						計画 (短期目標)														
						指標 ☆○△×														

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
						年度目標						上半期		下半期		上半期		下半期	
13	12	保育園の新設、育休退園制度の廃止、待機児童の解消	就学前児童の保育に係る待機児童を解消するため、子ども・子育て支援事業計画に基づき、既存施設の活用や保育所等の新設により、必要な受入枠を確保する。	年度ごとに達成度を確認	こども政策課	年度目標						保育需要を鑑みて必要な受入枠を確保するための方策を検討し、施設整備を行う		保育需要を鑑みて必要な受入枠を確保するための方策を検討し、施設整備を行う					
						指標 ☆○△×						○		○					
						計画 (短期目標)						・現年度整備、認可に向けた申請等処理する ・次年度確保の方策の検討		・現年度整備、認可に向けた申請等処理する ・次年度確保の方策の決定		・保育需要を分析し、必要に応じた確保の方策を検討 ・子ども・子育て会議への報告、意見聴取 ・現年度整備、認可に向けた申請等処理		・次年度確保の方策の検討及び決定 ・現年度整備、認可に向けた申請等処理	
14	12	保育園の新設、育休退園制度の廃止、待機児童の解消	1 待機児童の解消 保育士確保策については、「有資格者給与改善費補助金」「保育士宿舎借上補助事業費補助金」の継続とともに、R5年度より「保育士奨学金返済支援事業費補助金」を創設した。  2 育休退園制度廃止 育休休業取得に伴い保育施設を一旦退園とする運用は、令和5年10月30日をもって廃止。	1 年度ごとに達成度を確認 2 令和5年10月30日をもって廃止	保育幼稚園課	年度目標						適切に補助金を支給することにより、保育の質の向上および保育士の処遇改善を図る		適切に補助金を支給することにより、保育の質の向上および保育士の処遇改善を図る					
						指標 ☆○△×						○		○					
						計画 (短期目標)						奨学金: 交付申請の受付 他: 適切に交付できるように事務を進める		奨学金: 交付決定を行う 他: 適切に交付できるように事務を進める		奨学金: 交付申請の受付 質改善: 有資格者給与改善費補助金は28,000円の新単価で円滑に補助を進める 他: 適切に交付できるように事務を進める		奨学金: 交付決定を行う 質改善: 有資格者給与改善費補助金は28,000円の新単価で円滑に補助を進める 他: 適切に交付できるように事務を進める	
15	13	幼稚園・保育園にかかわらず、お子さんの一時預かりを可能とする政策の促進	保育園において、保育園や幼稚園に在園していないお子さんの一時預かり事業を実施する。	年度ごとに達成度を確認	こども支援課	年度目標						公立保育園6園、民間保育園23園で一時預かり事業を実施し、安定的に安心して子育てできる環境を整える		公立保育園6園、民間保育園24園で一時預かり事業を実施し、安定的に安心して子育てできる環境を整える		公立保育園6園、民間保育園24園で一時預かり事業を実施し、安定的に安心して子育てできる環境を整える。 また、公立保育園における令和8年度からの利用料金改定を円滑に進められるよう事務を行う。			
						指標 ☆○△×						○		○					
						計画 (短期目標)						実施園29園で実施		実施園29園で実施。 次年度実施に向け実施園との調整を行う。		民間保育園との契約を行い、公立保育園を含めた計30園で実施		実施園30園で実施。 令和7年度実施に向けた調整を行う。	
指標 ☆○△×						○		○		○		○							
進捗 状況						公立園6園、民間園23園で一般型一時預かり事業を実施し、お子さんの預かりを必要とする子育て家庭を支援した。また、次年度実施に向け実施園との調整を行った。		公立園6園、民間園23園で一般型一時預かり事業を実施し、お子さんの預かりを必要とする子育て家庭を支援した。また、次年度実施に向け実施園との調整を行った。		公立園6園、民間園24園で一般型一時預かり事業を実施し、お子さんの預かりを必要とする子育て家庭を支援した。		公立園6園、民間園24園で一般型一時預かり事業を実施し、お子さんの預かりを必要とする子育て家庭を支援した。また、次年度実施に向け実施園との調整を行った。							

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
						年度目標						上半期		下半期		上半期		下半期	
16	13	幼稚園・保育園にかかわらず、お子さんの一時預かりを可能とする政策の促進	幼稚園及び認定こども園において、お子さんの一時預かり事業を実施する。	年度ごとに達成度を確認	保育幼稚園課	年度目標	幼稚園14園(市外園含む)、認定こども園3園で幼稚園型一時預かり事業を実施し、安心して子育てができる環境を整備する						幼稚園14園(市外園含む)、認定こども園3園で幼稚園型一時預かり事業を実施し、安心して子育てができる環境を整備する		幼稚園13園(市外園含む)、認定こども園4園で幼稚園型一時預かり事業(幼稚園型Ⅰ)を実施する。また、幼稚園1園で幼稚園型一時預かり事業(幼稚園型Ⅱ)を実施し、安心して子育てができる環境を整備する。				
						指標 ☆○△×	○						○		○		○		
						計画 (短期目標)	実施園17園で実施		実施園17園で実施 次年度実施に向け 実施予定園との調整を行う		実施園16園で実施(予定)		実施園16園で実施(予定) 次年度実施に向け実施予定園との調整を行う		幼稚園型Ⅰ:実施園17園で実施(予定) 幼稚園型Ⅱ:実施園1園で実施(予定)		幼稚園型Ⅰ:実施園17園で実施(予定) 幼稚園型Ⅱ:実施園1園で実施(予定) 次年度実施に向け実施予定園との調整を行う		
						進捗 状況	実施園において、長期休業日も含め、一時預かりを行うことができた。また、来年度の委託契約に向けて準備中。		次年度実施予定園に対して通知を行い、4月1日からの実施に向けて調整を進めている。		実施園において、長期休業日も含め、一時預かりを行うことができた。また、来年度の委託契約に向けて準備中。		次年度実施予定園に対して通知を行い、4月1日からの実施に向けて調整を進めている。また、これまでの幼稚園型一時預かり事業(幼稚園型Ⅰ)に加え、幼稚園型一時預かり事業(幼稚園型Ⅱ)を令和7年度より実施する準備を整えた。						
17	14	PTA・子ども育成会などの活動における負担軽減を支援	子どもや保護者を取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応し、各関係機関に対し負担軽減や改革推進の働きかけを行うとともに、地域事情に配慮しながら各団体や保護者からの具体的な悩みや相談に対応することで改善を図っていく。	令和8年度	社会教育課	年度目標	関係機関と連携し、各団体の事情に配慮しながら相談対応を行う		関係機関と連携し、各団体の事情に配慮しながら相談対応を行い、必要に応じて活動改善の支援を行う		関係機関と連携し、各団体の事情に配慮しながら相談対応を行い、活動改善に向けた支援を行う								
						指標 ☆○△×	○		○		○								
						計画 (短期目標)	市P連との連携による改善事例の情報提供や相談対応		所子連による個別相談会の開催支援		PTA活動(家庭教育学級等)や子ども会育成会事業(所子連事業等)について各団体の活動見直しを支援する		各団体の事情に配慮し、活動見直しのための情報提供や相談対応を行う		各団体の事情に配慮しながら相談対応を行うとともに、改善事例についての情報提供等により活動改善を支援する				
						進捗 状況	市P連の各種会議や研修会、ホームページ等を活用し、情報提供、及び個別に相談対応を行った。		各地区の公民館で開催する個別相談会の会場確保等の支援により、年間を通して、各地区の子ども会育成会の活動等を支援した。		PTA活動では、単位PTAからの相談対応の他、市P連事業(PTA会長等研修会や広報誌コンクール)の開催を支援し、活動見直し等の情報共有の場を創出した。また、家庭教育学級事業については、運営面での保護者負担軽減のため、事業内容の見直しや手続きの簡素化、各学級の状況に応じ柔軟な相談対応を行った。		所沢市PTA連合会と連携し、PTA会長等研修会(オンライン併用)で、会長ならではの悩みや活動改善事例を共有した。また、家庭教育学級事業については、負担感のある業務委託から交付金制度への切替準備を行った。						
18	15	いじめ、不登校、引きこもりの方々へ寄り添う政策の実現	身近な地域において、各々のライフステージに応じた居場所を切れ目なく持つことを目指し。どこにも居場所がない子ども・若者が生じないよう支援するとともに、できるだけ多様な居場所を持てるよう、官民で連携・協働して取り組んでいく。	年度ごとに達成度を確認	こども政策課 →R7から青少年課	年度目標	こどもの居場所づくりを進める民間団体を支援していく		こどもの居場所づくりを進める民間団体を支援していく		こどもの居場所づくりを進める民間団体を支援していく								
						指標 ☆○△×	○		○		○								
						計画 (短期目標)	・各団体への情報提供 ・各団体の取組公表		・各団体への情報提供 ・各団体の取組公表		・各団体への情報提供 ・各団体の取組公表		・各団体への情報提供 ・各団体の取組公表		・各団体への情報提供 ・各団体の取組公表				
						進捗 状況	こどもの居場所づくりに係る国の補助金制度について社会福祉協議会へ情報提供した。		こどもの居場所づくりに係る国の補助金制度について社会福祉協議会との会議を実施し、課題の共有を図った。		こどもの居場所づくりに係る県の補助金制度について、社会福祉協議会への情報提供・助言により、補助金の申請に至った。社会福祉協議会とLINEによる若者向けの情報発信等について意見交換を行った。		社会福祉協議会におけるこどもの居場所ネットワーク設立(R7.2)を支援した。社会福祉協議会と連携して、職員・市民より回収した書籍等を業者へ売却した利益をこどもの居場所づくりに活用する事業「キモチと。」を実施した。企業の寄付を活用し、こどもの居場所づくり応援事業としてこども食堂等へレトルト食品を配布した。						

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
						年度目標						上半期		下半期		上半期		下半期	
19	15	いじめ、不登校、引きこもりの方々へ寄り添う政策の実現	青少年育成所沢市民会議や所沢市青少年相談員が実施する事業へ参加してもらうことにより、子どもたちの健やかな心を育てていく。市民会議委員や相談員との交流のなかで、悩みなどをきく。	年度ごとに達成度を確認	青少年課	年度目標	スポーツ大会や所沢郷土かるた大会などを実施する						スポーツ大会や所沢郷土かるた大会などを実施する		スポーツ大会や所沢郷土かるた大会などを実施する				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	三道大会、少年少女バスケットボール大会		所沢郷土かるた大会、卓球大会		少年野球大会、少年サッカー大会		三道大会、バスケットボール大会、卓球大会、所沢郷土かるた大会		少年野球大会、少年サッカー大会		三道大会、バスケットボール大会、卓球大会、所沢郷土かるた大会		
進捗	指標 ☆○△×	○		○		○		○											
進捗	状況	三道大会及び少年少女バスケットボール大会は全て予定どおり開催され、参加した小中学生の健やかな心の育成に貢献した。		卓球大会、所沢郷土かるた大会は予定どおり開催され、参加した小中学生の健やかな心の育成に貢献した。		少年野球大会及び少年サッカー大会は全て予定どおり開催され、参加した小中学生の健やかな心の育成に貢献した。		全ての事業が予定どおり開催され、参加した青少年の健やかな心の育成に貢献した。											
20	15	いじめ、不登校、引きこもりの方々へ寄り添う政策の実現	不登校、引きこもりの初期において、その要因に発達障害の特性が疑われる児童生徒への居宅訪問による療育的支援を行う。	各年度	こども福祉課	年度目標	発達障害児アウトリーチ支援事業の開始						発達障害児アウトリーチ支援事業の安定稼働						
						指標 ☆○△×	○												
						計画 (短期目標)	R6年度より追加		・教育委員会と協議し発達障害児アウトリーチ支援事業のスキームを作成する ・発達障害児アウトリーチ支援事業の委託契約を締結する		・発達障害児アウトリーチ支援事業を運用し、その経験からR7年度以降の事業内容のブラッシュアップを行う		・切れ目ない支援の実施のために年度当初からの委託契約を締結する ・学校向けの制度利用に関するガイドブック等の資料を作成し、学校現場への周知を図る ・複数事業者による事業実施に向け、事業者の追加公募を行う		・複数事業者によるアウトリーチ支援事業を運用し、その経験からR8年度以降の事業内容のブラッシュアップを行う				
進捗	指標 ☆○△×					○		○											
進捗	状況					・教育委員会と協議し発達障害児アウトリーチ支援事業のスキームを作成した。 ・公募型のプロポーザルを行い、発達障害児アウトリーチ支援事業の委託契約を締結した。		・アウトリーチ支援の導入を行った(実績2ケース:支援中1ケース、支援開始保留中1ケース)。 ・R7年度に向け受託者と在籍校の情報共有の円滑化等の仕様改善を行った。											
21	15	いじめ、不登校、引きこもりの方々へ寄り添う政策の実現	スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・生徒指導、いじめ問題対策員・心理士の配置	年度ごとに達成度を確認	学校教育課	年度目標	児童・生徒の健全育成		児童・生徒の健全育成		児童・生徒の健全育成								
						指標 ☆○△×	○		○										
						計画 (短期目標)	いじめや不登校児童生徒の減少	いじめや不登校児童生徒の減少	いじめや不登校児童生徒の減少	いじめや不登校児童生徒の減少	いじめや不登校児童生徒の減少	いじめや不登校児童生徒の減少							
進捗	指標 ☆○△×	○	○	○	○														
進捗	状況	①いじめ②非行問題行動③学級不適應や学級運営改善④非行や怠学による不登校などの問題に対して、学校の要請を受け、専門家が適切・迅速に対応している。	①いじめ②非行問題行動③学級不適應や学級運営改善④非行や怠学による不登校などの問題に対して、学校の要請を受け、専門家が適切・迅速に対応している。	①いじめ②非行問題行動③学級不適應や学級運営改善④非行や怠学による不登校などの諸課題に対して、学校の要請を受け、専門家が適切・迅速に対応している。	①いじめ②非行問題行動③学級不適應や学級運営改善④非行や怠学による不登校などの諸課題に対して、学校の要請を受け、専門家が適切・迅速に対応している。														

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
						年度目標						上半期		下半期		上半期		下半期	
22	15	いじめ、不登校、引きこもりの方々へ寄り添う政策の実現	教育センター教育相談室における相談活動・不登校支援、教職員研修を通して、すべての子どもたちの健やかな成長を促す。	年度ごとに達成度を確認	教育センター	年度目標	教育センター教育相談室における相談活動・不登校支援、教職員研修を通して、すべての子どもたちの健やかな成長を促す						教育センター教育相談室における相談活動、不登校支援、教職員研修を通して、すべての子どもたちの健やかな成長を促す		教育センター教育相談室における相談活動、不登校支援、教職員研修を通して、すべての子どもたちの健やかな成長を促す				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	相談・支援体制の充実		相談・支援体制の充実		相談・支援体制の充実		相談・支援体制の充実		相談・支援体制の充実		相談・支援体制の充実		
						進捗 状況	各相談活動(面接・電話・巡回・訪問)を通し、保護者や児童生徒の思いに寄り添いながら支援を行うことができている。教育支援センター「クwest」では不登校児童生徒の受入れを積極的に行っている。また、教職員のニーズに対応した研修会を実施することができた。		各相談活動(面接・電話・巡回・訪問)を通し、保護者や児童生徒の思いに寄り添いながら支援を行うことができている。教育支援センター「クwest」では、教育相談支援員を1名増員し、不登校児童生徒の受入れを積極的に行っている。また、教職員のニーズに対応した研修会を実施することができた。		各相談活動(面接・電話・巡回・訪問)を通し、保護者や児童生徒の思いに寄り添いながら支援を行うことができている。教育支援センター「クwest」では、教育相談支援員を1名増員し、不登校児童生徒の受入れを積極的に行っている。また、教職員のニーズに対応した研修会を実施することができた。		各相談活動(面接・電話・巡回・訪問)を通し、保護者や児童生徒の思いに寄り添いながら支援を行うことができている。教育支援センター「クwest」では、教育相談支援員を1名増員し、不登校児童生徒の受入れを積極的に行っている。また、教職員のニーズに対応した研修会を実施することができた。						
23	16	市内小・中学校の防犯対策強化	学校経営アドバイザーの学校訪問による指導、助言。安全・安心な学校と地域づくり推進本部(支部)会議の開催。	年度ごとに達成度を確認	学校教育課	年度目標	学校と地域が連携し防犯体制の強化を図る		学校と地域が連携し防犯体制の強化を図る				学校と地域が連携し防犯体制の強化を図る						
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	事件、事故の未然防止		事件、事故の未然防止		事件、事故の未然防止		事件、事故の未然防止		事件、事故の未然防止		事件、事故の未然防止		
						進捗 状況	平時よりスタッフが学校を巡回し、問題の未然防止に努めている。安全安心な学校と地域づくり推進本部会議は、開始以来18年が経過し当初の目的が達成されたことから見直しを図っている。		平時よりスタッフが学校を巡回し、問題の未然防止に努めている。安全安心な学校と地域づくり推進本部会議は、開始以来18年が経過し当初の目的が達成されたことから見直しを図っている。		平時よりスタッフが学校を巡回し、問題の未然防止に努めている。安全安心な学校と地域づくり推進本部会議で行っていた防犯に関する事業は、コミュニティスクールへ統合されたり、学校独自の取組として地域と共に連携したりして、形を変えて取り組んでいる。		平時よりスタッフが学校を巡回し、問題の未然防止に努めている。各中学校区ではコミュニティスクールや安全安心支部会議において、地域の課題について共通理解を図り、地域ぐるみで防犯対策に取り組んでいる。						
24	16	市内小・中学校の防犯対策強化	犯罪の抑止と来校者を把握するため、市内中学校へ防犯カメラを設置する。	令和7年度までに中学校全校の設置を完了する。	教育施設課	年度目標	工事費の予算見積計上と、補助金(学校施設環境改善交付金)の申請を行い、現場調査までを行う		中学校8校へ防犯カメラを設置する				中学校7校へ防犯カメラを設置する						
						指標 ☆○△×	○						☆						
						計画 (短期目標)	見積金額の算出と補助金の申請をする		防犯カメラの設置位置について現場調査を行う		防犯カメラの設置について設計、起工を行う		学校と工事受注者の調整を図り、工事を完成させる		防犯カメラの設置について設計、起工を行う		学校と工事受注者の調整を図り、工事を完成させる		
						進捗 状況	見積金額を各校毎に算出し、その金額を基に補助金の申請を行った。		設置位置について現場調査を行った。		防犯カメラ設置位置を定め、設計及び起工の準備を整えた。		防犯カメラ設置工事が完成した。						

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
25	17	学校給食に所沢の食材の利用促進	農業振興課と連携し、地元農家と学校給食とを結び、地元野菜の使用向上、食育推進へとつなげていく。	年度ごとに達成度を確認	保健給食課	年度目標	地元農産物の使用の推進、有機野菜使用に向けた検討を進める。積極的に献立に取り入れ、給食を通して子どもたちや家庭、地域へ地元農産物の良さを伝えていく。						地元農産物の使用の推進、有機野菜使用に向けた検討を進める。積極的に献立に取り入れ、給食を通して子どもたちや家庭、地域へ地元農産物の良さを伝えていく。		地元農産物の使用の推進、有機栽培の野菜使用に向けた検討を進める。積極的に献立に取り入れ、給食を通して子どもたちや家庭、地域へ地元農産物の良さを伝えていく。				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	彩の国ふるさと学校給食月間にちなみ、地元農産物を使用した献立を積極的に取り入れ、給食だより等で紹介する	学校栄養士と有機農家の関係性を深め、栄養士の地元農産物・有機野菜への知識を高めると同時に、学校給食への有機野菜の試験的導入を始めていく	彩の国ふるさと学校給食月間にちなみ、地元農産物を使用した献立を積極的に取り入れ、給食だより等で紹介する。有機野菜については、夏期に給食に取り入れるほか、学校栄養士が知識を高められるよう研修を行う。	児童生徒が有機野菜へ関心が持てるよう、給食での提供や食育の推進を図る	彩の国ふるさと学校給食月間にちなみ、地元農産物や有機栽培の野菜を使用した献立を積極的に取り入れ、給食だより等で紹介する	彩の国ふるさと学校給食月間、学校給食週間にちなみ、児童生徒が地元農産物や有機栽培の野菜に関心が持てるよう、給食での提供や食育の推進を図る							
進捗	指標 ☆○△×	○						○											
						状況	11月は所産産野菜を積極的に献立に取り入れ、各学校の給食だよりで紹介した。12月に有機農家を招き、栄養士対象に有機野菜についての研修会を農業振興課と連携し開催した。	給食センターは人参、単独校では、じゃがいも、人参、大根の有機野菜を給食として提供した。有機野菜を栽培している生産者を学校に招き、児童と一緒に給食を喫食し、交流の機会を持った。	6月の彩の国ふるさと学校給食月間では、積極的に、地場産野菜を給食に取り入れた。有機栽培の夏野菜を自校式給食の6校で使用できた。また年間を通して使用するモデル校の1校では、生産者を学校に招き、児童と一緒に給食を喫食し、交流の機会を設けた。また保護者の試食会でも、有機栽培の野菜を使用した。	地場産野菜を積極的に使用した。有機栽培の野菜を使用するモデル校の1校では年間を通して使用することができた。また全校でも、人参、大根、さつまいも、ねぎ、じゃがいもを使用することができ、生産者とも交流を行った。また、生産者をホームページで紹介するなどして周知に努めた。									
26	17	学校給食に所沢の食材の利用促進	農産物の提供に協力する農業者と一体となり、学校給食への地元農産物の利用について推進していく。	年度ごとに達成度を確認	農業振興課	年度目標	利用促進に向けた協議、検討、調整						利用促進に向けた協議、検討、調整、試行的取組		利用拡大・円滑化に向けた検討、実践				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	利用促進に向けた協議、検討、調整	利用促進に向けた協議、検討、調整	利用促進に向けた協議、検討、調整	利用促進に向けた協議、検討、調整、試行的取組	利用促進に向けた協議、検討、調整、試行的取組	利用拡大・円滑化に向けた検討、実践	利用拡大・円滑化に向けた検討、実践						
						進捗	指標 ☆○△×	○						○					
						状況	保健給食課や有機農業実践者等との打合せを継続的にし、納品規格を見直した。12月には栄養士向けの有機農業に関する勉強会を保健給食課と連携して行ったほか、1月以降の給食への試験導入に向けた調整を進めた。また、10月からは地元生産者の野菜を給食センターに活用する新たな取組みにも着手した。	地元有機農家の協力により、1月から3月にかけて両学校給食センター及び全単独調理校に野菜の試験的導入を行った。2月の保健給食課主催の食育フォーラムでは、試食用給食に使用される野菜の一部を地元有機農家が提供した。3月には、次年度の利用促進に向けた供給計画の作成や、安定的な提供に向けた検討を行った。	「とことこオーガニック」として地元で有機栽培された農産物を、6月から9月にかけて、7校で試験的導入を行った。(うち1校は継続して年間モデル校として使用していく。) また、11月からは全校に対して、とことこオーガニック協力農家による共同出荷での提供を予定しているため、これに向けた調整会議を行った。その他、保健給食課や現場の栄養士と連携し、学校での地元農家と子どもたちと交流を進めた。	学校給食への食材提供に関心のある農業者から相談があった際には、保健給食課と連携して利用に向けた調整を行っている。オーガニック給食に関しては、地元有機農家同士で連携して同一品目の共同出荷を試行し、市内全小中学校に、さつまいも、長ねぎ、にんじん、大根を提供した。また、1月に開催した「とことこオーガニックマルシェ」では有機農家による野菜販売とあわせ、給食の取組のPRを行った。									

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度						
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期		
27	18	普通教室・体育館に加え、特別教室、武道場にもエアコンを設置	エアコンが未整備の特別教室へエアコンを設置する。また、中学校の武道場へもエアコンを設置していく。	※調整のため記載なし	教育施設課	年度目標	エアコンを設置する特別教室の照会と現場調査						中学校の3教室にエアコンを設置する		中学校の3教室にエアコンを設置する					
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	学校へエアコン設置を希望する特別教室の照会をする			エアコンを設置する特別教室の現場調査			特別教室のエアコン設置について設計、起工を行う		学校と工事受注者の調整を図り、工事を完成させる		特別教室のエアコン設置について設計、起工を行う		学校と工事受注者の調整を図り、工事を完成させる	
						指標 ☆○△×	△			○			☆		☆					
進捗	状況	該当校に対する設置対象教室の選定を行った。			設置対象教室の現場調査を行った。			設置対象教室のエアコン整備を、9月末に完成させた。		達成済。										
28	19	70歳以上の方のところバス、ところワゴン無料化	ところバス・ところワゴン所管の都市計画課と連携し、70歳以上の無料化に向けて検討・調整を行います。	未定	高齢者支援課	年度目標	無料化の検討・調整						無料化の検討・調整		無料化の検討・調整					
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	無料化の検討・調整			無料化の検討・調整			無料化の検討・調整		無料化の検討・調整		無料化の検討・調整		無料化の検討・調整	
						指標 ☆○△×	○			○			○		○					
進捗	状況	実施に向けて、都市計画課と調整を行った。			都市計画課にて無料化検討のための来年度予算を計上。			実施に向けて、都市計画課と調整を行った。		実施に向けて、都市計画課と情報共有及び課題整理を行った。										
29	19	70歳以上の方のところバス、ところワゴン無料化	ところバス運行目的の一つである「高齢者等の交通弱者対策」として、市内在住で65歳以上の方に特別乗車証を交付しているが、これに加えて、市内在住の高齢者が無料となる乗車証を新設する。	令和7年4月	都市計画課	年度目標	新たな制度の内容及び導入スケジュールを決定する						ところバス・ところワゴンの高齢者無料化を実施する		ところバス・ところワゴンの高齢者無料化を実施する					
						指標 ☆○△×	○						△							
						計画 (短期目標)	新制度の案を複数提示し、実現性の高いものを選択する			実施スケジュールを決定し、委員報酬等の予算を3月議会に提出する			運行事業者と調整の上、制度設計を行い、運賃協議会に諮る		市民に対する周知など、無料化に向けた事務を進める		運行事業者と調整の上、制度設計を行い、運賃協議会に諮る		市民に対する周知など、無料化に向けた事務を進める	
						指標 ☆○△×	○			○			△		△					
進捗	状況	制度について検討した。			無料化に向けた検討を進めるための予算を議会に提出した。			運行事業者との調整が難航したため、制度設計や運賃協議会へ諮るところまで至らなかった。		運行事業者との調整が難航したため、制度設計や運賃協議会へ諮るところまで至らなかった。										
30	20	ゴミ有料化反対	市長が有料化に反対の立場であることを表明する。	着任後速やかに	資源循環推進課	年度目標	着任後、反対を表明													
						指標 ☆○△×	☆													
						計画 (短期目標)	表明済み						達成済							
						指標 ☆○△×	☆													
進捗	状況	意向を表明する																		

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度	
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期	
31	21	ふるさと納税の活用 返礼品を再開する。 (R5) 寄附金の受け入れ。 (R6～)	令和7年3月	財政課	年度目標	返礼品の再開に向けた調査・検討を行う						寄附金の受け入れ及び基金積立方法の検討を行う			
					指標 ☆○△×	△						☆			
					計画 (短期目標)	他市・委託業者の調査		委託内容の検討		受入・積立方法の検討		受入・積立方法の検討			
					指標 ☆○△×	△		△		○		☆		達成済	
進捗	状況	1市 4事業者 に調査		事業者への委託内容の 確認 他市町村の公募内容 調査		委託事業者の確認の上、寄附受入等に 係るシステムの各種設定等を行った。		返礼品の再開に伴い、ふるさと納税ポータルサイトに「市長におまかせ」という選択肢を追加し、用途を指定しない寄附も受入できるように設定した。 「市長におまかせ」の寄附分を、指定7事業のどれに積み立てるかは、市長に何って決定することとした。 これらの取り組みにより、寄附金の受け入れも増加し、「ふるさと納税の活用」の観点では一定の成果が得られたものである。							
32	21	ふるさと納税の活用 返礼品を再開する。	令和6年11月	産業振興課	年度目標	返礼品を再開する						返礼品を再開する			
					指標 ☆○△×	R6年度より追加						☆			
					計画 (短期目標)	R6年度より追加		委託内容と返礼品の検討、委託業者の選定		返礼品の選定・実施		返礼品の選定・実施			
					指標 ☆○△×	R6年度より追加		○		☆		達成済			
進捗	状況	R6年度より追加		第2回定例会にて補正予算の議決を得た。 7月に中間委託事業者を選定・決定を行ない、並行して返礼品の総務省審査のために、埼玉県へ108品目分の申請を行なった。		令和6年11月1日に返礼品の提供を再開した。その後も継続して事業者の募集を行い、返礼品の充実を図った。									
33	21	ふるさと納税の活用 返礼品を再開する。	令和6年11月	商業観光課	年度目標	返礼品を再開する						返礼品を再開する			
					指標 ☆○△×	R6年度より追加						☆			
					計画 (短期目標)	R6年度より追加		委託内容と返礼品の検討、委託業者の選定		返礼品の選定・実施		返礼品の選定・実施			
					指標 ☆○△×	R6年度より追加		○		☆		達成済			
進捗	状況	R6年度より追加		第2回定例会にて補正予算の議決を得た。 7月に中間委託事業者を選定・決定を行ない、並行して返礼品の総務省審査のために、埼玉県へ108品目分の申請を行なった。		中間事業者同行のもと、市内観光・商業事業者を訪問し、返礼品として取り扱えるように調整を図った。									
34	21	ふるさと納税の活用 返礼品を再開する。	令和6年11月	農業振興課	年度目標	返礼品を再開する						返礼品を再開する			
					指標 ☆○△×	R6年度より追加						☆			
					計画 (短期目標)	R6年度より追加		委託内容と返礼品の検討、委託業者の選定		返礼品の選定・実施		返礼品の選定・実施			
					指標 ☆○△×	R6年度より追加		○		☆		達成済			
進捗	状況	R6年度より追加		第2回定例会にて補正予算の議決を得た。 7月に中間委託事業者を選定・決定を行ない、並行して返礼品の総務省審査のために、埼玉県へ108品目分の申請を行なった。		令和6年11月1日に返礼品の提供を再開した。その後も継続して事業者の募集を行い、返礼品の充実を図った。									

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度						
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期		
						年度目標						年度目標						年度目標		
35	22	都市計画区域の積極的見直し	地域の特性や周辺環境との調和に配慮し、みどりの保全と計画的な開発による適正な土地利用を目指す。	年度ごとに達成度を確認	都市計画課	年度目標	適正な土地利用に向けた調査研究を行う						適正な土地利用に向けた調査研究を行う		適正な土地利用に向け、都市計画決定を行う。					
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画(短期目標)	見直しに向けた課題などを整理する			見直しに向けた課題などを整理する			見直しに向けた課題などを整理する		見直しに向けた課題などを整理する		都市計画決定に向けた協議を行う		都市計画決定を行う	
36	23	中小零細企業、農業振興への活性化支援、担い手不足対策	所沢市地域資源活用・ものづくり総合支援補助金の交付件数5件を達成する。	年度ごとに達成度を確認	産業振興課	年度目標	交付件数5件以上を目標とする。						交付件数5件以上を目標とする。		交付件数5件以上を目標とする。					
						指標 ☆○△×	○						☆							
						計画(短期目標)	金融機関へのDM発送			事業所へのDM発送等			広報や商工会議所会報誌での周知		金融機関等へのDM発送		広報や商工会議所会報誌での周知		金融機関等へのDM発送	
37	23	中小零細企業、農業振興への活性化支援、担い手不足対策	認定農業者等を支援することで農業の担い手を確保する。	年度ごとに達成度を確認	農業振興課	年度目標	認定農業者等の経営改善を支援						認定農業者等の経営改善を支援		認定農業者等の経営改善を支援					
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画(短期目標)	認定農業者等の経営改善を支援			認定農業者等の経営改善を支援			認定農業者等の経営改善を支援		認定農業者等の経営改善を支援		認定農業者等の経営改善を支援		認定農業者等の経営改善を支援	
37	23	中小零細企業、農業振興への活性化支援、担い手不足対策	認定農業者等を支援することで農業の担い手を確保する。	年度ごとに達成度を確認	農業振興課	指標 ☆○△×	○						○							
						計画(短期目標)	認定農業者等の経営改善を支援			認定農業者等の経営改善を支援			認定農業者等の経営改善を支援		認定農業者等の経営改善を支援		認定農業者等の経営改善を支援		認定農業者等の経営改善を支援	
						進捗 状況	認定農業者等の経営改善に資する施設・機械の整備や修繕に対しその費用の一部を補助した。			認定農業者等の経営改善に資する施設・機械の整備や修繕に対しその費用の一部を補助した。 ※令和5年度実績は、機械補助24件、施設補助1件、修繕補助2件の計27件。補助金総額は20,132,000円(執行率95%)			認定農業者等の経営改善に資する施設・機械の整備や修繕に対し、その費用の一部を補助した。		認定農業者等の経営改善に資する施設・機械の整備や修繕に対し、その費用の一部を補助した。 機械補助 15件 施設補助 4件 修繕補助 2件 補助金額 20,904,000円(執行率99.0%)					

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
						年度目標						有効活用に向けて必要な連絡調整を行う						有効活用に向けて必要な連絡調整を行う	
38	24	旧市役所庁舎、文化会館跡地の有効活用	旧庁舎・文化会館跡地活用について、様々な観点から検討する。	年度ごとに達成度を確認	経営企画課	年度目標	有効活用に向けて必要な連絡調整を行う						有効活用に向けて必要な連絡調整を行う		有効活用に向けて必要な連絡調整を行う				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	有効活用に向けて必要な連絡調整を行う			有効活用に向けて必要な連絡調整を行う			金融機関へのヒアリング等により民間からの知見を得る		金融機関へのヒアリング等の結果を踏まえた検討を行う		金融機関や不動産業者の需要等の動向を調査する		上半期の調査結果を踏まえて、活用の方角性を検討する
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
						進捗 状況	引き続き市HPなどで提案を募るとともに、事業者との意見交換を実施した。			引き続き市HPなどで提案を募るとともに、事業者との意見交換を実施した。			・金融機関へのヒアリングを実施した。 ・引き続き市HPなどで提案を募るとともに、事業者との意見交換を実施した。		・不動産関係等の事業者5社からヒアリングを実施し、関係部署による調整会議を実施した。 ・上記ヒアリングの内容を踏まえ、課題の洗い出しを行うとともに、次年度以降の進め方について論点を整理した。 ・解体に必要なアスベスト調査、地歴調査に係る経費の予算措置を講じた。				
39	24	旧市役所庁舎、文化会館跡地の有効活用	旧庁舎・文化会館跡地について、企業誘致を中心とした活用方法について検討する。	年度ごとに確認	産業振興課	年度目標	企業向けにPRを行うための誘致策を検討する						企業向けにPRを行うための誘致策を検討する		企業向けにPRを行うための誘致策を検討する				
						指標 ☆○△×	△						△						
						計画 (短期目標)	誘致策を検討する			誘致策を検討する			誘致策を検討する		誘致策を検討する		誘致策を検討する		誘致策を検討する
						指標 ☆○△×	△		△		△		△						
						進捗 状況	庁内関係課との連絡調整を行った。興味を示した事業者の提案を庁内関係課と共有した。			庁内関係課との連絡調整を行った。			庁内関係課との連絡調整を行ったほか、市内金融機関16行を訪問して、活用案を募集している旨を周知した。		経営企画課などの庁内関係課との連絡調整を行い今後の進め方について検討を行った。				
40	25	所沢市の歴史・文化などの保管できる場所の設置	郷土資料等収蔵施設を整備する。	令和12年度(市制施行80周年)	文化財保護課	年度目標	郷土資料等収蔵施設の整備を検討する						郷土資料等収蔵施設の整備を具体的に検討する		郷土資料等収蔵施設の整備に向けた資料整理を行う				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	資料管理のデジタルシステム化の準備			整備方針の検討			資料管理のデジタル化		具体的な整備方針の検討		所蔵資料の再整理		第二文書庫(旧富岡公民館)の資料の移動
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
						進捗 状況	11月6日に第1回庁内検討会議を開催して、改めてデジタルシステム化の必要性を確認し、予算要求を行った。			2月8日に第2回庁内検討会議を開催して、既存施設の活用・整備について、次年度以降より詳細に検討することとなった。			令和6年10月から郷土資料管理システムを導入する。それに向けた契約手続きやデータ整理を行った。		2月13日に第2回庁内検討会議を開催し、整備の方向性を検討した。				

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
41	26	地域包括支援センターの充実・強化	高齢者の生活を総合的に支援するため、効果的かつ安定的な運営を図るとともに、総合相談支援等の機能強化に取り組みます。	各年度	高齢者支援課	年度目標	効果的かつ安定的な運営を図るとともに、総合相談支援等の機能強化に取り組みます						効果的かつ安定的な運営を図るとともに、総合相談支援等の機能強化に取り組みます		効果的かつ安定的な運営を図るとともに、総合相談支援等の機能強化に取り組みます				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	・効果的かつ安定的な運営 ・総合相談支援等の機能強化		・効果的かつ安定的な運営 ・総合相談支援等の機能強化		・効果的かつ安定的な運営 ・総合相談支援等の機能強化		・効果的かつ安定的な運営 ・総合相談支援等の機能強化		・効果的かつ安定的な運営 ・総合相談支援等の機能強化		・効果的かつ安定的な運営 ・総合相談支援等の機能強化		
42	27	シルバー人材センターを活用した市の活性化策の実現	高齢者の就労による生きがいの高揚やシルバー人材センターの地域社会への貢献を促進するため、センターへの補助金交付を維持し、活動支援を継続していきます。	各年度	高齢者支援課	年度目標	補助金交付等の活動支援の継続						補助金交付等の活動支援の継続		補助金交付等の活動支援の継続				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	補助金交付等の活動支援の継続		補助金交付等の活動支援の継続		補助金交付等の活動支援の継続		補助金交付等の活動支援の継続		補助金交付等の活動支援の継続		補助金交付等の活動支援の継続		
43	28	農業と福祉の連携、企業と福祉の連携を促進	農福連携を進めるための仕組みづくり等の研究を関係課と連携し進める。	各年度	障害福祉課	年度目標	産業振興課主管の農商工連携きっかけづくり交流会(1月開催予定)を介して、社会福祉法人(障害者施設)と農家(農地)をつなぐ機会を創出する						産業振興課主管の農商工連携きっかけづくり交流会(1月開催予定)を介して、社会福祉法人(障害者施設)と農家(農地)をつなぐ機会を創出しつつ、両者のニーズを把握し、両者をつなぐ仕組みづくりの検討を行う		産業振興課主管の農商工連携きっかけづくり交流会(1月開催予定)を介して、社会福祉法人(障害者施設)と農家(農地)をつなぐ機会を創出しつつ、両者のニーズを把握し、両者をつなぐ仕組みづくりの検討を行う				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	参加申し込み。障害者施設と課題等について事前に共有。		交流会への参加。振り返り。参加できなかった施設への情報提供。		きっかけづくり交流会参加に向けて関係各課や福祉事業所等への周知を行う		交流会に参加し、情報共有を行う		昨年度に引き続き、きっかけづくり交流会参加に向けて関係各課や福祉事業所等への周知を行う		交流会に参加し、情報共有を行う		
43	28	農業と福祉の連携、企業と福祉の連携を促進	農福連携を進めるための仕組みづくり等の研究を関係課と連携し進める。	各年度	障害福祉課	指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	参加申し込み。障害者施設と課題等について事前に共有。		交流会への参加。振り返り。参加できなかった施設への情報提供。		きっかけづくり交流会参加に向けて関係各課や福祉事業所等への周知を行う		交流会に参加し、情報共有を行う		昨年度に引き続き、きっかけづくり交流会参加に向けて関係各課や福祉事業所等への周知を行う		交流会に参加し、情報共有を行う		
						進捗 状況	市立はばたきと情報共有し、参加申込書を提出。なお、指定管理者の藤の実会が運営する「かがやき」についても、参加することになった。		社会福祉法人藤の実会の運営する「所沢市立はばたき」および「かがやき」が交流会に参加し、結果について分析を行った。		産業振興課の担当者に連絡し、「交流会」への参加について調整を行った。また、「勉強会」(交流会ではない)の講師として墨田区のすみのわを呼ぶことを提案(不採用)。就労継続支援B型事業所の飛行船に連絡し、交流会への出席を打診。農業振興課から市内で農産物の加工ができる事業者を探しているとの相談があり、市内の就A・就Bにメールで照会を行った。昨年度個別に相談があり、連携に協力した荒田ファームとれんげの郷から、今年度も連携して作業を行うとの連絡があった。		11/20開催の「交流会」に参加した。障害者関係の事業所からは、「NPO いずみ飛行船」、「所沢市立 きぼうの園」、「森のとうふ屋さんの手づくり菓子工房」3つのB型就労支援事業所が参加し、参加者同士の理解が深められ、今後の連携の可能性が広がる。地域の事業者間でのネットワーク構築を促進する重要な機会となった。						

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
						年度目標						企業と福祉の連携の可能性について、障害福祉課と情報共有を行う		企業と福祉の連携の可能性について、障害福祉課と情報共有を行う		企業と福祉の連携の可能性について、障害福祉課と情報共有を行う			
44	28	農業と福祉の連携、企業と福祉の連携を促進	障害福祉課と情報共有し、必要に応じて事業者へ情報提供を行う。	年度ごとに達成度を確認	産業振興課	年度目標	企業と福祉の連携の可能性について、障害福祉課と情報共有を行う						企業と福祉の連携の可能性について、障害福祉課と情報共有を行う		企業と福祉の連携の可能性について、障害福祉課と情報共有を行う				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	連携可能性について、情報共有		連携可能性について、情報共有		連携可能性について、情報共有を行う		連携可能性について、情報共有を行う		連携可能性について、情報共有を行う		連携可能性について、情報共有を行う		
45	28	農業と福祉の連携、企業と福祉の連携を促進	農福連携を進めるための仕組みづくり等の研究を行う。	年度ごとに達成度を確認	農業振興課	年度目標	連携の取組の推進						農業者と福祉事業者をつなぐ機会を創出するとともに、農福連携の周知を図る		農業者と福祉事業者をつなぐ機会を創出するとともに、農福連携の周知を図る				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	連携の取組の推進		連携の取組の推進		農業者と福祉事業者をつなぐ機会を創出するとともに、農福連携の周知を図る		農業者と福祉事業者をつなぐ機会を創出するとともに、農福連携の周知を図る		農業者と福祉事業者をつなぐ機会を創出するとともに、農福連携の周知を図る		農業者と福祉事業者をつなぐ機会を創出するとともに、農福連携の周知を図る		
46	29	図書館・市立小中学校の図書館充実	来館が困難な方へ読書機会の提供としての団体貸出を拡充	年度ごとに達成度を確認	所沢図書館	年度目標	貸出数の増加						貸出数の増加		貸出数の増加				
						指標 ☆○△×	○						△						
						計画 (短期目標)	団体貸出の周知		団体貸出の周知		団体貸出の周知		団体貸出の周知		団体貸出の周知		団体貸出の周知		
46	29	図書館・市立小中学校の図書館充実	来館が困難な方へ読書機会の提供としての団体貸出を拡充	年度ごとに達成度を確認	所沢図書館	指標 ☆○△×	○		○		○		○						
						計画 (短期目標)	○		○		○		○						
						状況	図書館のホームページで、団体貸出サービスについて掲載している。また、ブックトークで小学校訪問時に先生や学校司書に学校団体貸出の利用についてPRした。		図書館の広報紙「今月の図書館」への掲載、高齢者向け資料リストを該当施設送付の際に団体貸出についての周知を行った。		図書館のホームページで団体貸出サービスについて掲載している。また、校長会や私立幼稚園協会の集まりにて団体貸出の利用についてPRを行った。		子どもの読書活動推進連絡会の出席者や図書館見学に来館した先生、出張おはなし会の際に団体貸出の利用についてPRを行った。						

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度				令和7年度				
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期		
						年度目標						利用しやすい学校図書館の運営				利用しやすい学校図書館の運営				
47	29	図書館・市立小中学校の図書館充実	学校司書33名を小中学校に配置	年度ごとに達成度を確認	学校教育課	年度目標	利用しやすい学校図書館の運営						利用しやすい学校図書館の運営				利用しやすい学校図書館の運営			
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	利用人数の増加		利用人数の増加		利用人数の増加		利用人数の増加		利用人数の増加		利用人数の増加		利用人数の増加	
48	30	所沢イレブン会議の設置	地域力促進会議(平成25年設置。庁内横断的な所管課構成により組織された会議体)の活用 地域デザイン交流会(平成26年度から実施。地域住民と関係課職員が地域の課題を共有する事業)の開催	年度ごとに達成度を確認	地域づくり推進課	年度目標	地域課題の共有・分析						地域課題の共有・分析				地域課題の共有・分析			
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	地域課題に関する情報共有		地域課題に関する情報共有		地域課題に関する情報共有		地域課題に関する情報共有・分析		地域課題に関する情報共有		地域課題に関する情報共有		地域課題に関する情報共有	
49	31	透明性が高く、市民が主役のまちをつくる	所沢市自治基本条例の実効性確保を目的に、各条項の実施状況を報告し、意見聴取を行う。	未定	経営企画課	年度目標	有効活用に向けて必要な連絡調整を行う						所沢市自治基本条例の実効性の確保に向けた意見聴取を行う				所沢市自治基本条例の実効性の確保に向けた意見聴取を行うほか、第3期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定に向けた意見聴取を併せて行う			
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	有効活用に向けて必要な連絡調整を行う		有効活用に向けて必要な連絡調整を行う		自治基本条例推進委員会において意見聴取を行う		自治基本条例推進委員会において意見聴取を行う		自治基本条例推進委員会において意見聴取を行う		自治基本条例推進委員会において意見聴取を行う			
50	32	医療分野における人権侵害の徹底排除	人権尊重社会の実現に向け、啓発活動に取り組む。	通年	企画総務課	年度目標	様々な方策により、人権尊重に関する周知啓発に努める						様々な方策により、人権尊重に関する周知啓発に努める				様々な方策により、人権尊重に関する周知啓発に努める			
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	意識啓発の実施		意識啓発の実施		意識啓発の実施		意識啓発の実施		意識啓発の実施		意識啓発の実施			
50	32	医療分野における人権侵害の徹底排除	人権尊重社会の実現に向け、啓発活動に取り組む。	通年	企画総務課	指標 ☆○△×	○		○		○		○							
						計画 (短期目標)	○		○		○		○							
						状況	人権課題の周知・啓発等に取り組んだ。		人権課題の周知・啓発等に取り組んだ。		人権課題の周知・啓発等に取り組んだ。		人権課題の周知・啓発等に取り組んだ。							

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度				令和7年度				
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期		
						年度目標						期日前投票所増設への課題の抽出				期日前投票所増設に向けた課題への対応				期日前投票所増設の実施と検証
51	33	期日前投票所の増大	期日前投票所の増設	令和7年7月	選挙管理委員会事務局	年度目標	期日前投票所増設への課題の抽出						期日前投票所増設に向けた課題への対応				期日前投票所増設の実施と検証			
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	増設先の候補抽出			設置可能性の調査・検討			増設に向けた課題の検証		期日前投票所増設に向けた体制整備		期日前投票所の増設及び運営の実施		期日前投票所の増設及び運営の結果検証	
						進捗 指標 ☆○△×	○			○			○		○					
					進捗 状況	公共施設、商業施設等を中心に、増設先の候補を抽出した。			増設先の候補について、設置時の課題を整理した。			増設の時期、増設先及び増設する数について、選挙管理委員会において方向性の共有を図った。				増設先の関係者と今後の期日前投票所の運営について、打合せを行った。期日前投票所増設のための経費を令和7年度予算に計上した。				
52	34	災害に強いまちの実現	災害に備えた関係機関、民間事業者等との災害時応援協定の締結	令和9年度を目安とするがその後も必要に応じて充実を図る	危機管理室	年度目標	災害時応援協定締結分野の洗い出し						災害時応援協定を3件締結する				災害時応援協定を3件締結する			
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	災害時応援協定1件締結			災害時応援協定2件締結			災害時応援協定1件締結		災害時応援協定2件締結		災害時応援協定1件締結		災害時応援協定2件締結	
						進捗 指標 ☆○△×	○			○			○		○					
					進捗 状況	災害時における福祉避難所施設利用に関する協定を社会福祉法人藤の実会ぶらすと締結。帰宅困難者の連携協力に関する協定を有限会社アトム開発と締結。			災害時における物流に関する応援協定を佐川急便と締結。			災害時における応急生活物資の供給に関する協定を株式会社セキ薬品と締結。帰宅困難者の連携協力に関する協定を株式会社遊楽と締結。				災害時における物資調達に関する協定をスギホールディングス株式会社と締結。災害時の医療救護活動に関する協定等を所沢市医師会、所沢市歯科医師会、所沢市薬剤師会と締結。災害時における指定福祉避難所設置運営に関する協定を所沢市社会福祉協議会、社会福祉法人藤の実会、社会福祉法人皆成会と締結。				
53	34	災害に強いまちの実現 [市道4-1386号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路3工区)築造事業]	埼玉県的第一次特定緊急輸送道路に指定されている国道463号バイパスと県道所沢青梅線を結ぶ「上藤沢・林・宮寺間新設道路」は、隣接する入間市や地域間の支援活動の強化を図るとともに、三ヶ島地区の地域活性化に重要な幹線道路を整備するものである。	令和8年度	道路建設課	年度目標	3工区の用地取得を行う						市道4-1386号線の用地取得及び築造工事				市道4-1386号線の用地取得及び築造工事			
						指標 ☆○△×	△						△							
						計画 (短期目標)	3工区の用地取得			同左			用地取得及び築造工事発注		用地取得及び築造工事完了		用地取得及び築造工事発注		用地取得及び築造工事完了	
						進捗 指標 ☆○△×	○			△			○		△					
					進捗 状況	今年度買収予定地について、契約締結を進めている。			契約締結に向け交渉を進めていたが地権者の諸事情により契約に至らなかった。			今年度買収予定地について、用地交渉を続けている。築造工事を発注した。				今年度買収予定地について、用地交渉を続けている。3月11日に築造工事が完了した。				
54	34	災害に強いまちの実現 [所沢市総合治水対策事業(清柳橋改築事業)]	柳瀬川と東川合流地点前後区間にある清柳橋が河川整備の妨げとなっていることから、今後の浸水被害の軽減、及び隣接する清瀬市との地域間の支援活動の強化を図るため、当該橋りょうの改築、並びに接続する市道1-900号線の道路を整備するものである。	令和7年度	道路建設課	年度目標	市道1-900号線 道路改良工事						市道1-900号線 改良工事							
						指標 ☆○△×	○						☆							
						計画 (短期目標)	改良工事			完了			改良工事発注		改良工事完了					
						進捗 指標 ☆○△×	○			○			○		☆					
					進捗 状況	工期内竣工に向け、順調に工事を進めている。			工事が工期内に問題なく完了した。			工期内竣工に向け、順調に工事を進めている。				工事が完了し、3月15日に新しい清柳橋が開通した。				

達成済

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度				令和7年度				
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期		
						年度目標						上半期				下半期				
55	34	災害に強いまちの実現 [松戸橋改築事業]	既存の松戸橋は、橋脚により河川を阻害していること、また老朽化していることから、松戸橋を架け換えることで、治水上の課題の解消及び隣接する東村山市との地域間の支援活動の強化を図り、防災に強い交通網を整備するものである。	年度ごとに達成度を確認	道路建設課	年度目標	関係機関及び地権者と協議を行う						用地買収及び路線測量、用地測量、橋りょうの予備設計、地質調査の業務委託				用地取得			
						指標 ☆○△×	○						△							
						計画 (短期目標)	関係機関及び地権者と協議			関係機関及び地権者と協議			用地買収及び業務委託発注		用地買収及び業務委託完了		用地取得		用地取得	
56	34	災害に強いまちの実現	【水道管整備事業】 老朽化した水道管(導水管・送水管・配水管)を耐震性の高いダクトイル鑄鉄管等へ更新を進める。	年度ごとに達成度を確認	上下水道局水道建設課	年度目標	令和5年度予定事業を計画的に実施する						令和6年度予定事業を計画的に実施する				令和7年度予定事業を計画的に実施する			
						指標 ☆○△×	○						☆							
						計画 (短期目標)	工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める			工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める			工事発注予定表に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定表に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定表に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定表に沿った工事発注及び工事完成に努める	
57	34	災害に強いまちの実現	【浄水場整備事業(耐震補強工事)】 「所沢市水道事業経営計画」に基づき、着水井等の耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場合については、耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築する。	年度ごとに達成度を確認	上下水道局給水管理課	年度目標	令和5年度予定事業を計画的に実施する						令和6年度予定事業を計画的に実施する				【浄水場整備事業(耐震補強工事)】は令和6年度で完了			
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める			工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める			工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める					
57	34	災害に強いまちの実現	【浄水場整備事業(耐震補強工事)】 「所沢市水道事業経営計画」に基づき、着水井等の耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場合については、耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築する。	年度ごとに達成度を確認	上下水道局給水管理課	進捗 状況	南部浄水場着水井耐震診断について、予定通り委託業務を進めており、年度末に完了予定である。			南部浄水場着水井耐震診断について、工程どおり委託業務を完了した。			東部浄水場着水井ほか1箇所耐震補強等工事について、契約は完了し予定通り工事を進めており、年度末に工事完了予定である。		東部浄水場着水井ほか1箇所耐震補強等工事について、工程どおり工事を進め、3/25に工事完了した。		達成済			

政策 NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度						
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期		
						令和5年度予定事業を計画的に実施する						令和6年度予定事業を計画的に実施する						令和7年度予定事業を計画的に実施する		
58	34	災害に強いまちの実現	【浄水場整備事業（西部浄水場更新工事）】 西部浄水場について、老朽化した当該施設の耐震性や適正規模について検討を行った結果、ダウンサイジングを見据えた施設全体の再構築を行い、配水池や管理棟など全ての場内施設を計画的に更新する。	年度ごとに達成度を確認	上下水道局 給水管理課	年度目標	令和5年度予定事業を計画的に実施する						令和6年度予定事業を計画的に実施する				令和7年度予定事業を計画的に実施する			
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		更新工事に向けて地権者交渉を行い用地取得に努めるとともに、関係機関協議や事前協議を進める		更新工事に向けて地権者交渉を行い用地取得に努めるとともに、関係機関協議や事前協議を進める		発注予定に沿った委託業務発注及び委託業務完了に努める		発注予定に沿った委託業務発注及び委託業務完了に努める			
						指標 ☆○△×	○		○		○		○							
					進捗	状況	西部浄水場更新基本計画策定について、予定通り委託業務を進めており、年度末に完了予定である。		西部浄水場更新基本計画策定について、工程どおり委託業務を完了した。		西部浄水場更新工事に向けて、地権者交渉、関係機関協議、事前協議を進めている。		令和5年度策定の基本計画を基に地権者と交渉した結果、取得可能な用地の範囲が判明した。							
59	34	災害に強いまちの実現	【下水道管渠布設事業】 生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、第1次市街化調整区域下水道整備計画に基づく5年計画の下水道整備事業を令和2年度から行う。  【下水道地震対策事業】→下水道維持課(令和6年度までは下水道整備課) 所沢市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠及びマンホール、地下調整池の耐震化を進めるものである。	年度ごとに達成度を確認	上下水道局 下水道整備課	年度目標	令和5年度予定事業を計画的に実施する						第4期整備事業の完了及び耐震化工事等の実施				令和7年度予定事業を計画的に実施する			
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める			
						指標 ☆○△×	○		△		○		△							
					進捗	状況	工事発注予定に沿った工事の完成に努めている。		概ね予定に沿って工事は完成したが、令和5年度内の完成が困難となった工事については令和6年内の完成を目指して進めていく。		工事発注予定に沿った工事の完成に努めている。		概ね予定に沿って工事は完成したが、令和6年度内の完成が困難となった工事については令和7年内の完成を目指して進めていく。							

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
						令和5年度予定事業を計画的に実施する						令和6年度予定事業を計画的に実施する		令和7年度予定事業を計画的に実施する					
60	34	災害に強いまちの実現	【下水道維持管理事業】重要なライフラインである下水道について、適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させ、継続的に利用できる環境を整える。	年度ごとに達成度を確認	上下水道局 下水道維持課	年度目標	令和5年度予定事業を計画的に実施する						令和6年度予定事業を計画的に実施する		令和7年度予定事業を計画的に実施する				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
進捗	状況	工事発注予定に沿った工事の完成に努めている。		一部工期延長によって来年度へ繰り越す工事があるが、概ね工事発注予定に沿った工事の完成を達成している。		工事発注予定に沿った工事の完成に努めている。		一部工期延長によって来年度へ繰り越す工事があるが、概ね工事発注予定に沿った工事の完成を達成している。											
61	34	災害に強いまちの実現	【下水道地震対策事業】令和7年度より下水道維持課(令和6年度までは下水道整備課)所沢市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠及びマンホール、地下調整池の耐震化を進めるものである。	年度ごとに達成度を確認	上下水道局 下水道維持課	年度目標	令和5年度予定事業を計画的に実施する						令和6年度予定事業を計画的に実施する		令和7年度予定事業を計画的に実施する				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		工事発注予定に沿った工事発注及び工事完成に努める		
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
進捗	状況	工事発注予定に沿った工事の完成に努めている。		概ね工事発注予定に沿った工事の完成を達成している。		工事発注予定に沿った工事の完成に努めている。		概ね工事発注予定に沿った工事の完成を達成している。											

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
						年度目標						上半期		下半期		上半期		下半期	
62	35	健康都市・日本一に向けた政策の実現	高齢者が継続的に介護予防・健康づくりに取り組めるよう、普及啓発、活動及び担い手の支援並びに健康に関する取組を推進します。	各年度	高齢者支援課	年度目標	介護予防の普及啓発、活動及び担い手の支援並びに健康に関する取組を推進します						介護予防の普及啓発、活動及び担い手の支援並びに健康に関する取組を推進します		介護予防の普及啓発、活動及び担い手の支援並びに健康に関する取組を推進します				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	介護予防の普及啓発、活動及び担い手の支援並びに健康に関する取組の推進		介護予防の普及啓発、活動及び担い手の支援並びに健康に関する取組の推進		介護予防の普及啓発、活動及び担い手の支援並びに健康に関する取組の推進		介護予防の普及啓発、活動及び担い手の支援並びに健康に関する取組の推進		介護予防の普及啓発、活動及び担い手の支援並びに健康に関する取組の推進		介護予防の普及啓発、活動及び担い手の支援並びに健康に関する取組の推進		
						進捗 状況	介護予防・認知症予防アンケートの結果アドバイス票の送付、お達者倶楽部の助成金説明会・交流会の開催、シニア・アカデミーの開催等を通じて取組を推進した。		介護予防・認知症予防アンケートの実施報告書の作成、お達者倶楽部の交流会の開催、シニア・アカデミーの開催等を通じて取組を推進した。		介護予防・認知症予防アンケートの送付及びアンケート回答者への結果アドバイス票等の送付、お達者倶楽部の活動発表会準備会の開催、ところん元気百歳体操実施団体への活動支援やトコフィット養成講座を開催した。		介護予防・認知症予防アンケートの集計、実施報告書の作成、お達者倶楽部の活動発表会の開催、上半期に引き続きところん元気百歳体操実施団体への活動支援やトコフィット養成講座を開催した。						
63	35	健康都市・日本一に向けた政策の実現	精神障害者アウトリーチ支援事業により、重篤な精神障害者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、保健・医療・福祉の多職種チームによる24時間対応の支援を実施する。	年度ごとの達成を確認	健康管理課	年度目標	アウトリーチ支援チームによる24時間対応による包括的な地域生活支援の実施						アウトリーチ支援チームによる包括的な地域生活支援を実施		アウトリーチ支援チームによる包括的な地域生活支援を実施				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	支援対象者(約90人)への支援を継続する		支援対象者(約90人)への支援を継続する		令和6年9月までに次期契約を締結する。支援対象者(約90人)への支援を継続する。		契約締結後も滞りなく支援を継続する。常時支援対象者を90人以上とし、新たに年間10人以上支援対象者を受け入れる。		毎月常時約90人に対し、保健医療福祉が包括された地域生活支援を実施する。他自治体、関係機関等からの視察依頼は積極的に受け入れ対応していく。		毎月常時約90人に対し、保健医療福祉が包括された地域生活支援を実施する。他自治体、関係機関等からの視察依頼は積極的に受け入れ対応していく。		
						進捗 状況	令和5年12月末現在の支援対象者は92人であり、24時間オンコール体制による支援を継続している。		令和6年3月末現在の支援対象者は93人であり、24時間オンコール体制による支援を継続している。		令和6年8月1日に国立精神神経医療研究センターと契約を締結し、令和6年10月以降も滞りなく事業を実施できるよう準備を進めた。なお、令和6年8月末までの支援対象者数は88人であり24時間オンコール体制による支援を継続している。		契約締結後も滞りなく支援を継続している常時支援対象者を90人以上とし事業を推進している。R7.3月末で91人に対し24時間オンコールでの支援を実施している。また、広島市、フィリピン保健省、ウクライナ保健省から視察を受け入れた。						

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
64	35	健康都市・日本一に向けた政策の実現	所沢市保健医療計画に基づき、「健康」に関する施策を推進する。主に、「歩くこと」を中心とした健康づくりをさらに推し進めるため、埼玉県「コバトン健康マイレージ」への参入に加え、本市独自のポイントや景品を組み込むことでより充実したインセンティブを付加した「トコトコ健幸マイレージ」を事業展開することにより、参加者数の更なる拡大につなげ、健康寿命の延伸や医療費の抑制を図る。	期日なし	健康づくり支援課	年度目標	埼玉県コバトン健康マイレージ事業が令和5年度末で終了し、令和6年度から新アプリによる新たな健康増進事業へ移行する予定のため、埼玉県と連携して情報発信等を行い、新事業への円滑な移行に努める。現行事業については引き続き参加者募集を行うとともに、活動継続の促進及び活動量増加等のため、関係課や関係事業者等と連携して事業を進める。						「埼玉県コバトン健康マイレージ事業」が令和5年度末で終了し、令和6年度から「コバトンALKOOマイレージ」に移行したため、埼玉県と連携して情報発信等を行い、新事業の周知を進め参加者の募集を行うとともに、活動継続の促進及び活動量増加等のため、関係課や関係事業者等と連携して事業を進める		広く「コバトンALKOOマイレージ」の情報を発信し、関係課や関係事業者等と連携しながら事業を周知し、参加者を募集する。また、歩くことによる健康増進の効果に関する情報を発信するなど参加者のモチベーション維持・向上に努め、活動継続及び活動量増加を促進する。				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	・現行事業については市独自ポイント対象となる事業について、関係課と調整し進める ・新アプリによる新事業への移行に向けた予算編成を行う		・現行事業では市独自の景品に関するポイント集計、抽選、配送等を実施する ・新アプリによる新事業の運用開始に向けた準備を進める		・参加者の拡大を目指して、事業の周知を図る ・熱中症対策の情報提供を交えるなど気温上昇に配慮しつつ、活動継続の促進及び活動量増加のための情報発信を行う		・市独自の景品に関するポイント集計、抽選、配送等を実施する ・引き続き参加者の拡大を目指して、事業の周知を図る		・参加者数の増加を目指すとともに、事業を知らない市民のいないよう、広く周知を図る ・近年の気温上昇に配慮し、春季は活動継続の促進及び活動量増加、夏季は熱中症対策のための水分や塩分補給など、時期に応じた情報提供を行う		・秋季から引き続き参加者数の増加を目指す ・他課の事業とも連携しつつ、周知を図る ・市独自の景品に関するポイント集計、抽選、配送等を実施する		
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
64	35	健康都市・日本一に向けた政策の実現	所沢市保健医療計画に基づき、「健康」に関する施策を推進する。主に、「歩くこと」を中心とした健康づくりをさらに推し進めるため、埼玉県「コバトン健康マイレージ」への参入に加え、本市独自のポイントや景品を組み込むことでより充実したインセンティブを付加した「トコトコ健幸マイレージ」を事業展開することにより、参加者数の更なる拡大につなげ、健康寿命の延伸や医療費の抑制を図る。	期日なし	健康づくり支援課	進捗 状況	・市独自ポイントの集計を行うとともに、市独自の景品である「お食事券」について、対象店舗の選定、送付状等の作成、当選者の確定等を経て、3月中に配送を行った。また、庁内各課との連携により対象事業を拡充した「イベント参加ポイント」の取得者について、当選者の確定を行い、景品であるクオカードを3月中に送付した。  ・新アプリが1月中に利用できるようになったため、県と連携して操作講習会を開催したほか、市HPや広報紙等による情報発信を行った。		・参加者の拡充のため、「歯と口の健康週間行事」や「健康増進月間イベント」において新規加入を促したほか、公民館事業等に出向き、周知を行った。その結果、参加申込者数は9月末で8,442人となっている。  ・ウォーキング等外出時の熱中症対策として、X(旧Twitter)で、涼しい時間の選択やこまめな水分補給、塩分やミネラルの摂取等を紹介したほか、保健センター内にあるウォーターサーバーや指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の周知を行った。  ・平均歩数の増加及び参加者拡充のため、ウォーキング促進強化月間の企画・準備を進めた。また、他所属が主催するウォーキングイベントと連携し、ポイント対象事業とするため、調整・準備を行った。		・参加者数の増加のため、10月に小手指公民館分館の体操事業に出向いての周知及び富岡まちづくりセンターでのマイレージアプリ登録会を実施した。  ・11月に他所属が主催するウォーキングイベント「市民体力つくりところんウォーク2024(11/4開催、総参加者数233人)」及び「みどりのふれあいウォーク(11/9開催、総参加者数1,457人)」と連携し、事業を周知した。  ・10月～12月にウォーキング促進強化月間を実施した。その結果、参加申込者数は3月末で9,325人となっている。  ・市独自ポイントの集計を行うとともに、市独自の景品である「お食事券」について、対象店舗の選定、送付状等の作成、当選者の確定(1,400人)等を経て、3月中に配送を行った。								
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
						計画 (短期目標)	SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市に関する情報収集		SDGs未来都市に関する情報収集		
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
65	36	ゼロカーボンシティの推進、SDGs未来都市に	SDGs未来都市選定に関する可能性を検討する。	年度ごとに達成度を確認	経営企画課	年度目標	SDGs未来都市に関する情報収集						SDGs未来都市に関する情報収集		SDGs未来都市に関する情報収集				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市に関する情報収集		SDGs未来都市に関する情報収集		
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
65	36	ゼロカーボンシティの推進、SDGs未来都市に	SDGs未来都市選定に関する可能性を検討する。	年度ごとに達成度を確認	経営企画課	進捗 状況	SDGs未来都市に関する情報収集を行った。		内閣府主催のSDGsオンライン相談会に参加するなど、未来都市に関する情報収集を行った。		SDGs未来都市に関する情報収集を行った。		2月12日(水)に、2025年度SDGs未来都市募集に係る説明会に出席して情報収集を行った。ダイアプラン構成市における検討状況の情報収集を行った。						
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
						計画 (短期目標)	SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市選定に係る情報収集		SDGs未来都市に関する情報収集		SDGs未来都市に関する情報収集		
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度				令和7年度				
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期		
						年度目標						指標 ☆○△×		計画 (短期目標)		指標 ☆○△×		進捗 状況		指標 ☆○△×
66	36	ゼロカーボンシティの推進、SDGs未来都市に	【ゼロカーボンシティの推進】 ①太陽光発電設備が設置可能な公共施設に当設備を設置 ②スマートハウス化推進補助金により家庭部門の脱炭素化を推進 ③脱炭素経営ネットワーク会議の開催等により、脱炭素経営賛同者数を増加	①2030年度 ②2030年度 ③2030年度	まちごとエコタウン推進課	年度目標	①令和4年度太陽光発電設備導入調査結果を生かした太陽光発電導入の実施、②スマートハウス化推進補助金の交付、③脱炭素経営会議の立ち上げ及び会議、セミナー等の実施						①国補助事業の採択を受け太陽光発電設備設置工事の実施②スマートハウス化推進補助金の交付③二酸化炭素排出量可視化事業の実施及び脱炭素経営に係る交流会等の実施				①国補助事業の採択を受け太陽光発電設備設置工事の実施・稼働 ②スマートハウス化推進補助金の交付 ③脱炭素経営の推進に関するセミナー・交流会・展示会等の実施			
						指標 ☆○△×	○						○		○		○		○	
						計画 (短期目標)	①実施に向けた庁内合意 ②予算額に対して50%以上の執行 ③当会議の立ち上げ、及び会議等の2回以上の実施		①プロポーザルの実施 ②予算額に対して95%以上の執行 ③会議等の2回以上の実施		①補助金申請、契約 ②予算額に対して50%以上の執行 ③交流会の実施、実証事業の実施		①設計・工事の実施 ②予算額に対して95%以上の執行 ③交流会の実施、実証事業の取りまとめ及び結果報告、展示会の実施		①工事の実施 ②予算額に対して50%以上の執行 ③脱炭素経営ネットワーク本部会議の実施及び脱炭素経営に関する情報発信等		①工事の実施及び太陽光発電の稼働 ②予算額に対して95%以上の執行 ③脱炭素経営の推進に関するセミナー・交流会・展示会等の実施及び検証			
指標 ☆○△×	○		○		△		○													
進捗 状況	①庁内の合意形成を図り、プロポーザルによる事業者選定を進めている。 ②予算額執行率59.9%(12月末時点) ③「所沢市脱炭素経営ネットワーク会議」を立ち上げ、本部会議、作業部会及びセミナーを実施した。		①プロポーザルにより事業者を選定。基本協定及び仮契約を締結した。 ②予算執行率79%(3月29日時点) ③脱炭素経営ネットワーク交流会及び展示会を実施した。		①プロポーザルにより選定した事業者との仮契約に基づき、環境省の補助制度を活用するため、事業者と市で共同で補助申請した。 ②予算執行率34%(9月11日時点) ③脱炭素経営ネットワーク本部会議と交流会を開催した。		①補助の交付決定を受けた3施設について、本契約を締結し工事の設計を行った。 ②予算執行率96.9% ③交流会や環境展示会を開催したほか、CO2可視化事業を実施した。													
67	37	所沢の魅力を強みに発信、観光客を呼び込む	COOL JAPAN FOREST構想に基づき、株式会社KADOKAWAと連携し魅力向上の効果波及を目指す。	年度ごとに達成度を確認	経営企画課	年度目標	株式会社KADOKAWAと連携しCOOL JAPAN FOREST構想の啓発事業を行い、次年度実施予定の「所沢市Mixカルチャーフェスタ開催事業」の実施内容を検討する						株式会社KADOKAWAと連携しCOOL JAPAN FOREST構想を推進する。「所沢市Mixカルチャーフェスタ開催事業」を実施する。				株式会社KADOKAWAと連携しCOOL JAPAN FOREST構想を推進する。所沢Mixカルチャーフェスタを実施する。			
						指標 ☆○△×	○						○		○		○		○	
						計画 (短期目標)	啓発事業の実施		啓発事業及びCOOL JAPAN FOREST実務担当者会議の実施		「所沢市Mixカルチャーフェスタ開催事業」実施内容の検討		「所沢市Mixカルチャーフェスタ開催事業」の実施		COOL JAPAN FOREST実務担当者会議の開催、所沢Mixカルチャーフェスタ実施内容の検討		COOL JAPAN FOREST実務担当者会議の開催、所沢Mixカルチャーフェスタの実施			
指標 ☆○△×	○		○		○		○													
進捗 状況	11月18・19日に武蔵野回廊文化祭、12月29日のFAVCUP2023に出展したほか、COOL JAPAN FOREST実務担当者会議を設置に向け検討した。		2/8実務担当者会議を実施し、双方の情報共有を図った。3/23にはプロレスポーツチームFAVgamingの凱旋報告会を実施した。		委託事業者を決定し、受託事業者から市内事業者に参加協力を依頼するとともに、タイムスケジュール及び内容について受託事業者と調整を進めた。		11月17日(日)に、ところざわサクラタウンで、所沢Mixカルチャーフェスタを開催した。滝の城まつりの武者行列や重松流祭囃子の披露、作家の角田光代氏のトークイベント、所沢の文化小物を使った撮影ブースの開設、所沢の工芸品展示、名産品の試食ブース、つまみ細工ワークショップを実施した。市内外からおよそ690人にご参加いただいた。													
68	37	所沢の魅力を強みに発信、観光客を呼び込む	所沢市広報課Instagramでの総投稿数を280回以上(令和5年12月から開始)	令和7年度末まで	広報課	年度目標	1ヶ月の投稿を10回以上行う。令和5年度末までに投稿を40回行う。						1ヶ月の投稿を10回以上行う。令和6年度末までに投稿を40回行う。				1ヶ月の投稿を15回以上行う			
						指標 ☆○△×	○						☆		☆		☆			
						計画 (短期目標)	10回		30回		30回		30回		90回		90回			
指標 ☆○△×	△		☆		☆		☆													
進捗 状況	7回(開始時期が遅れたため)		31回		92回		97回													

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度				令和7年度				
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期		
						令和5年観光入込客数 536万人 (産業振興ビジョン《後期アクションプラン》より)						令和6年観光入込客数 566万人 (産業振興ビジョン《後期アクションプラン》より)				令和7年観光入込客数 596万人 (産業振興ビジョン《後期アクションプラン》より)				
69	37	所沢の魅力を強力に発信、観光客を呼び込む	国内外から観光客を呼び込むため、効果的なプロモーションを推進するとともに、観光客受入れ環境の充実を図る。	年度ごとに達成度を確認	商業観光課	年度目標	令和5年観光入込客数 536万人 (産業振興ビジョン《後期アクションプラン》より)						令和6年観光入込客数 566万人 (産業振興ビジョン《後期アクションプラン》より)				令和7年観光入込客数 596万人 (産業振興ビジョン《後期アクションプラン》より)			
						指標 ☆○△×	-						-							
						計画 (短期目標)	パンフレット配架、SNS発信、ITF出展及び現地セールス等、道標設置、ガイド養成講座		パンフレット配架、SNS発信、アンケート、道標効果検証、ガイド養成講座		パンフレット配架、ガイド養成講座(ステップアップ)、道標設置、SNS発信		パンフレット配架、SNS発信、道標設置		観光ガイドブック・おさんぼナビ・道標の機能等を融合した「観光PRデジタルデータ」の作成に向けた検討を進める。また、市西部地区における新たな観光ルート創出に向け、現地調査や新たな観光資源の発掘を進める。		観光ガイドブック・おさんぼナビ・道標の機能等を融合した「観光PRデジタルデータ」を作成する。また、市西部地区における新たな観光ルートを創出し、効果的なプロモーションを推進する。			
						指標 ☆○△×	○		○		○		○							
					進捗	状況	パンフレットを約6,000部配布した。ところんの各種SNSで情報発信を実施した。ITF出展及び現地セールス等を行った。道標を設置し、周知等を行った。ガイド養成講座(実地研修)を実施した。		パンフレットを約12,000部配布した。アンケートを580件回収した。道標に関するアンケートを実施した。ガイド養成講座(モニターツアー)を実施した。		所沢市観光大使を8年目ぶりに新たに任命し、所沢の新たな魅力に気付いてもらう仕組みづくりを行った。一般財団法人自治体国際化協会(クレア)の事業を活用し、外国語観光ガイド養成を行った。また、ところんの各種SNSを活用してイベント情報や市内観光スポットの情報などを積極的に情報発信した。道標は委託事業者を決定し、設置場所の調査や板面の内容について委託事業者と調整した。		所沢市観光大使を3名任命し、所沢に興味を持ってもらうきっかけを作った。新規大使を任命したことで、ふるさと納税に影響をもたらす結果が生まれた。埼玉県物産観光協会のインバウンド事業において、KADOKAWA・YOT-TOKOを周遊するコースが選定され、台湾・米国・韓国・タイ市場に対してプロモーションを行うことができた。ところん、ところんぶず、Discover Tokorozawaなど各SNSアカウントにてイベント情報や市内観光スポットの発信をした。また、角川武蔵野ミュージアムで開催されたイラストレーター展「FR@GMENTS of THE IDOLM@STER CINDERELLA GIRLS」で描かれた市内各地をところんが訪れ、先述した3つのInstagramアカウントにて共同投稿を行い周知した。							
70	38	地域通貨の導入、市政にブロックチェーンの活用	地域通貨導入に関する可能性を検討する。	年度ごとに達成度を確認	経営企画課	年度目標	地域通貨導入について他市の状況等を分析研究し、可能性及び導入の検討を進める						地域通貨導入について他市の状況等を分析研究し、可能性及び導入の検討を進める				地域通貨導入について他市の状況等を分析研究し、可能性及び導入の検討を進める			
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討			
						指標 ☆○△×	○		○		○		○		○					
					進捗	状況	事業者や他市町村への情報収集を行った。		事業者や他市町村への情報収集を行った。		事業者や他市町村への情報収集を行った。		地域通貨導入による事業費の削減効果を把握するため、令和7年3月に全庁的に可能性調査を行った。導入コストや運営コストと比較した結果、現時点では費用対効果は低く実施は困難と判断した。							
71	38	地域通貨の導入、市政にブロックチェーンの活用	市政へのブロックチェーンの導入可能性を検討し、導入に係る技術的な支援を行う。	年度ごとに達成度を確認	デジタル戦略課	年度目標	市政へのブロックチェーンの導入可能性を検討する						市政へのブロックチェーンの導入可能性を検討する				市政へのブロックチェーンの導入可能性を検討する			
						指標 ☆○△×	☆						○							
						計画 (短期目標)	基礎知識の収集		事例調査		事例の継続調査		事例の継続調査		事例の継続調査		事例の継続調査			
						指標 ☆○△×	☆		☆		○		○							
					進捗	状況	ブロックチェーン技術の特性など、基礎知識を収集を行った。		実証実験などの記録が公開されている事例を調査し、分類した。		他自治体事例の情報収集を行った。		他自治体事例の情報収集を行い、経営企画課と連携して検討を進めた。							

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度				
						10	11	12	1	2	3	上半期	下半期	上半期	下半期			
72	38	地域通貨の導入、市政にブロックチェーンの活用	地域通貨導入に関する可能性について検討を進める。	年度ごとに確認	産業振興課	年度目標	地域通貨の導入の可能性や利活用方法について、「地域通貨導入委員会」等で検討を進める						地域通貨の導入の可能性や利活用方法について、「地域通貨導入委員会」等で検討を進める		地域通貨の導入の可能性や利活用方法について、「地域通貨導入委員会」等で検討を進める			
						指標 ☆○△×	○						○					
						計画 (短期目標)	可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討	
						進捗 指標 ☆○△×	○		○		○		○					
					進捗 状況	第3回地域通貨導入委員会にて地域通貨導入に係る検討を進めた。		地域通貨導入について、継続して検討した。		地域通貨導入について、継続して検討した。		地域通貨導入について、継続して、経営企画課と連携して検討を進めた。						
73	38	地域通貨の導入、市政にブロックチェーンの活用	地域経済の活性化、市内事業者支援を図るため地域通貨導入に関する可能性を検討する。	年度ごとに達成度を確認	商業観光課	年度目標	地域通貨の導入の可能性や利活用方法について、「地域通貨導入委員会」等で検討を進める						地域通貨の導入の可能性や利活用方法について、「地域通貨導入委員会」等で検討を進める		地域通貨の導入の可能性や利活用方法について、「地域通貨導入委員会」等で検討を進める			
						指標 ☆○△×	○						○					
						計画 (短期目標)	可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討		可能性及び導入の検討	
						進捗 指標 ☆○△×	○		○		○		○					
					進捗 状況	第3回地域通貨導入委員会にて地域通貨導入に係る検討を進めた。		地域通貨導入について、継続して検討した。		地域通貨導入について、継続して検討した。		地域通貨導入について、継続して、経営企画課と連携して検討を進めた。						
74	39	地域課題解決のため、市内にある高等教育機関(早稲田大学など)との協力・連携	基本協定締結校等と連携・協力し、協働によるまちづくりを推進する。	年度ごとに達成度を確認	経営企画課	年度目標	連携の取組の推進						連携の取組の推進		連携の取組の推進			
						指標 ☆○△×	○						○					
						計画 (短期目標)	連携の取組の推進		連携の取組の推進		連携の取組の推進		連携の取組の推進		連携の取組の推進		連携の取組の推進	
						進捗 指標 ☆○△×	○		○		○		○					
					進捗 状況	早稲田大学研究室の実証実験2件について庁内との調整を図った。うち1件(下水サーベイランス)が実施に至った。早稲田大学人間総合研究センターシンポジウムに登壇。		社会実装を目指した実証事業構想の新たな提案について調整対話を行った。		早稲田大学の研究・取組みについて紹介するため、市民ホールにて研究室単位のパネル展示を実施した。早稲田大学からの新たな連携提案について対話・調整を行った。		自転車を活用した地域活性化やこどもの交通安全教育における連携可能性について打ち合わせを行った。「全国都市改善改革実践事例発表会in所沢」で教授に審査員を担っていただいた。						

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度						
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期		
						年度目標						上半期		下半期		上半期		下半期		
75	40	国立障害者リハビリテーションセンターとの協力・連携強化	国立障害者リハビリテーションセンターと協力・連携し、福祉の増進に努める。	各年度	障害福祉課	年度目標	国立障害者リハビリテーションセンター運営委員会への参加より連携強化を図り、障害者週間イベントへの出展協力を受け障害理解を深める						引き続き、国立障害者リハビリテーションセンター運営委員会への参加により連携強化を図り、障害者週間イベント等への出展を行う		引き続き、国立障害者リハビリテーションセンター運営委員会への参加により連携強化を図り、障害者週間イベント等への出展を行う					
						指標 ☆○△×	○						○							
						計画 (短期目標)	障害者週間イベントへパネル、資料の出展を受ける		国立障害者リハビリテーションセンター運営委員会委員へ就任・参加				国立障害者リハビリテーションセンターとイベント等の企画を行うとともに、イベント周知の方法について検討を行う		国立障害者リハビリテーションセンターとのイベント実施と市民へのイベント周知活動を行う		今年度は、所沢市自立支援協議会委員の改選時期のため、国立障害者リハビリテーションからの委員の選出依頼を行う		国立障害者リハビリテーションセンターとイベント等の企画を行うとともに、イベント周知の方法について検討を行う	
						指標 ☆○△×	○		☆				○		○					
進捗	状況	障害者週間イベントへパネル、資料の出展を受けた。国リハコレクションに関連したパネル展示や障害のある方のニーズに応じた衣服の紹介があった。		市長が国立障害者リハビリテーションセンター運営委員会委員へ就任し、参加した。所管部署にて国リハへ訪問し、連携について協議を行った。				12月に開催する障害者週間イベント「障害者作品展」への展示等を企画し、国立障害者リハビリテーションセンターの担当者に連絡をとった。企画内容を説明し、調整の上、福祉機器の展示等の協力を得られることになった。		国立障害者リハビリテーションセンターと協力し、12/2～12/9開催の障害者週間記念事業「障害者作品展」の周知を行うとともに、パネル展示等の出展があり、障害に関する周知・啓発を行うことができた。更に、国立障害者リハビリテーション主催の「リハ並木祭」へ、デフリンピックの周知のポスターを掲示することができた。										
76	40	国立障害者リハビリテーションセンターとの協力・連携強化	国立障害者リハビリテーションセンターと協力・連携し、福祉の増進に努める。	各年度	子ども福祉課	年度目標	障害児福祉業務における支援や啓発事業などに係る連携協力		障害児福祉業務における支援や啓発事業などに係る連携協力				障害児福祉業務における支援や啓発事業などに係る連携協力							
						指標 ☆○△×	○		○											
						計画 (短期目標)	支援業務における情報提供		支援業務における情報提供		・支援業務における情報提供などを相互に行う		・支援業務における情報提供などを相互に行う		・支援業務における情報提供などを相互に行う		・支援業務における情報提供などを相互に行う		・支援業務における情報提供などを相互に行う	
						指標 ☆○△×	○		○		○		○		○		○		○	
進捗	状況	支援業務における情報提供などの連携を行った。		支援業務における情報提供、ケースカンファレンス開催などの連携を行った。		・支援業務における情報提供などの連携を行った。		・支援業務における情報提供などの連携を行った。		・支援業務における情報提供などの連携を行った。		・自立支援協議会子ども部会にて国立リハビリテーションセンター病院の職員が講師を務めた。		・国リハ多職種連携短期特別研修事務局の会議に参加した。						
77	41	西武鉄道、埼玉西武ライオンズとの協力・連携強化	包括連携協定にもとづき連携・協力を図り、協働によるまちづくりを推進する。	年度ごとに達成度を確認	経営企画課	年度目標	連携の取組の推進		連携の取組の推進				連携の取組の推進							
						指標 ☆○△×	○		○											
						計画 (短期目標)	連携の取組の推進		連携の取組の推進		連携の取組の推進		連携の取組の推進		連携の取組の推進		連携の取組の推進			
						指標 ☆○△×	○		○		○		○		○		○			
進捗	状況	市主催の市内回遊性創出イベント「TO KOROZAWA DE SIGN WALK」において、西武鉄道との連携によりデジタルスタンプラリーを実施した。		グランドデザインフォーラム、ネイチャーポジティブ共同宣言、ライオンズ緑の寄附金、所沢駅モノクローアト、担当者定期ミーティング等の実施によりさらなる連携を進めた。		PIAZZAおよび西武鉄道と協力してイベント情報のオンライン発信を開始した。連携協定に基づく定期ミーティングを実施した。		西武鉄道と、「ダンス甲子園in所沢」の実施に向けた調整を行った。協働による沿線価値向上に向けて、西武鉄道と市関係課(子ども政策課、都市計画課、経営企画課)にて意見交換を行った。「全国都市改善改革実践事例発表会in所沢」で執行役員に審査員をお願いした。												

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
78	41	西武鉄道、埼玉西武ライオンズとの協力・連携強化	「所沢市と株式会社西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定」(フレンドリーシティ)を通じ、互いの資源を活かして協働事業に取り組むことにより、地域の活性化を図る。	期日なし	商業観光課	年度目標	本市ならではのブランド価値を高め”ふるさと所沢”への愛着や誇りを醸成するため、ライオンズとの連携を強化する						本市ならではのブランド価値を高め”ふるさと所沢”への愛着や誇りを醸成するため、ライオンズとの連携を強化する		本市ならではのブランド価値を高め”ふるさと所沢”への愛着や誇りを醸成するため、ライオンズとの連携を強化する				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	共同事業の検討を行う		共同事業の検討を行う		共同事業を検討・実施する		共同事業を検討・実施する		共同事業を検討・実施する		共同事業を検討・実施する		
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
進捗	状況	全所属に来年度フレンドリーシティプログラムの照会をした。来年度の広報連載について検討した。		来年度に向けて、広報連載及び職員のコラボユニフォーム(ポロシャツ)について、西武ライオンズと調整した。		職員向けのコラボユニフォーム(ポロシャツ)を全庁に配布(2000枚)し、4月のホーム開幕戦には同時に着用できるよう庁内インフォメーション等でアナウンスした。広報ところざわの記事連載を行い、市民にライオンズに興味を惹く取組を行った。西武鉄道・埼玉県西武ライオンズの担当者とは、定期的に意見交換や相互に事業の提案を行い、連携の体制を整えた。		上半期に引き続き、広報ところざわで連載を行い、市民に興味を持ってもらうきっかけを作った。埼玉西武ライオンズで長きに渡り活躍された3選手の引退展を市民ホールで開催し、ファンを始めとして多くの方にご来場していただいた。西武鉄道とのインバウンドミーティングにおいて、定期的に意見交換を行った。											
79	42	地下鉄大江戸線の東所沢までの延伸	都市高速鉄道12号線の延伸に向けた活動を行う。	年度ごとに達成度を確認	都市計画課	年度目標	地下鉄12号線延伸促進協議会において、事業性等の諸課題の解決に向けた調査研究などを進める。東京都・埼玉県に対する要望活動を行う。						地下鉄12号線延伸促進協議会において、事業性等の諸課題の解決に向けた調査研究などを進める。東京都・埼玉県に対する要望活動を行う。		地下鉄12号線延伸促進協議会において、事業性等の諸課題の解決に向けた調査研究などを進める。東京都・埼玉県に対する要望活動を行う。				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	諸課題の解決に向けた調査研究を行う。東京都に対する要望内容について調整する。		諸課題の解決に向けた調査研究を行う。東京都に対して要望活動を行う。		事業性等の諸課題の解決に向けた調査研究などを進める		諸課題の解決に向けた調査研究を行う。東京都・埼玉県に対して要望活動を行う。		事業性等の諸課題の解決に向けた調査研究などを進める		諸課題の解決に向けた調査研究を行う。東京都・埼玉県に対して要望活動を行う。		
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
進捗	状況	地下鉄12号線延伸促進協議会による今年度の要望活動等について関連市区等と調整を行った。		地下鉄12号線延伸促進協議会において、東京都及び埼玉県に対して、早期の整備着手に係る要望活動を行った。		地下鉄12号線延伸促進協議会による今年度の要望活動等について関連市区等と調整を行った。		地下鉄12号線延伸促進協議会において、東京都及び埼玉県に対して、早期の整備着手に係る要望活動を行った。											
80	43	西所沢駅西口改札口開設	西所沢駅西口開設整備計画に基づき、早期実現に向けて取り組む。	年度ごとに達成度を確認	防犯交通安全課	年度目標	鉄道事業者と基本設計協定を締結し、設計に着手する						基本設計を完成させ、実施設計協定を締結する		実施設計を完成させる				
						指標 ☆○△×	○						○						
						計画 (短期目標)	基本設計協定の締結		基本設計の着手		基本設計の作成		実施設計協定の締結		実施設計の着手		実施設計の作成		
						指標 ☆○△×	○		○		○		○						
進捗	状況	西武鉄道株式会社と協議を行い、10月11日に「西武鉄道池袋線西所沢駅における西口改札口の開設等に関する基本設計協定書」を締結し、基本設計に着手した。		令和5年10月11日に締結した「西武鉄道池袋線西所沢駅における西口改札口の開設等に関する基本設計協定書」に基づき、西武鉄道と協議を行い、基本設計を作成している。		基本設計協定に基づき、履行期間内(令和6年12月25日まで)の基本設計の完成を目指し、西武鉄道と協議を継続している。また、並行して関係部署への庁内調整等を行っている。		西武鉄道株式会社と協議を行い、令和7年2月17日に「西武鉄道池袋線西所沢駅における西口改札口の開設等に関する実施設計協定書」を締結した。											

政策NO.	公約	実施内容	目標期日	所管課等	区分	令和5年度						令和6年度		令和7年度					
						10	11	12	1	2	3	上半期		下半期		上半期		下半期	
						年度目標						計画的な修繕の実施及び次期改修へ向けた検討						計画的な修繕の実施及び次期改修へ向けた検討	
81	44	所沢市民文化センター ミューズの活用拡大音楽の聖地化計画	無	文化芸術振興課	年度目標	計画的な修繕の実施						計画的な修繕の実施及び次期改修へ向けた検討				計画的な修繕の実施及び次期改修へ向けた検討			
					指標 ☆○△×	○						○							
					計画 (短期目標)	修繕契約締結		修繕完了		庁内関係部署及び指定管理者・PFI事業者と協議		庁内関係部署及び指定管理者・PFI事業者と協議		庁内関係部署及び指定管理者・PFI事業者と協議及び次期改修に向けた実施計画の提出		令和7年度修繕の完了及び次期改修の契約締結に向けた調整			
進捗	指標 ☆○△×	○		○		○		○											
進捗	状況	大ホール5階センターピン室空調設備について修繕契約を締結した。		令和5年度の修繕を完了した。引き続きその他の不具合箇所について、次年度以降修繕を行っている。		今後の改修について、庁内関係部署と協議を行うとともに、指定管理者・PFI事業者との協議を基に、改修箇所を特定するための劣化診断調査を開始した。		令和6年度に予定していた修繕を完了した。また、劣化診断調査の結果を基に、庁内関係部署との調整会議を開催し、次期改修に向けたスケジュールや改修箇所の検討を行った。											
82	45	「新所沢パルコ」撤退問題に関する統括専門部署の設置	未定	経営企画課	年度目標	専門部署の設置について検討を行う													
					指標 ☆○△×	☆													
					計画 (短期目標)	専門部署の設置について検討を行う													
進捗	指標 ☆○△×	☆						達成済											
進捗	状況	専門部署の設置必要性の検討を行い、経営企画課を統括専門部署とすることとした。																	
83	46	所沢市独自の保健所をつくります	令和12年4月1日	保健医療課	年度目標							保健所設置基本計画の策定及び設置事業者選定のための調査・準備を進める							
					指標 ☆○△×														
					計画 (短期目標)									保健所設置検討委員会を適切に運営し、保健所設置基本計画策定業務を推進するとともに、用地の測量・調査に向けた準備を進める		保健所設置基本計画を11月までに策定するとともに、設置事業者選定に向けて、用地の測量・調査を実施のうえ、公募型プロポーザルの準備を進める			
進捗	指標 ☆○△×	令和6年度までは、No7中核市に移行として管理																	
進捗	状況																		